

大刀洗町
学校施設長寿命化計画

平成 31（2019）年 3 月

大刀洗町 教育委員会

目 次

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
①背景	1
②目的	1
③計画期間	2
④対象施設	2
第2章 学校施設の目指すべき姿	4
第3章 学校施設の実態	6
①学校施設の運営状況・活用状況等の実態	6
1) 対象施設一覧	6
2) 児童・生徒数及び学級数の変化	7
3) 学校施設の配置状況	13
4) 施設関連経費の推移	18
5) 学校施設の保有量	20
6) 今後の維持・更新コスト（従来型）	21
7) 学校施設の活用状況	22
②学校施設の老朽化状況の実態	23
1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価	23
2) 今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）	38
第4章 学校施設整備の基本的な方針等	40
①学校施設の規模・配置計画等の方針	40
1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針	40
2) 学校施設の規模・配置計画等の方針	42
②改修等の基本的な方針	43
1) 長寿命化の方針	43
2) 目標使用年数、改修周期の設定	44
第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	46
①改修等の整備水準	46
②維持管理の項目・手法等	47

第6章 長寿命化の実施計画	54
①改修等の優先順位付けと実施計画	54
1) 長寿命化改修等の優先順位	54
2) 今後5年間の整備内容	56
3) 今後5年間の予算配分	58
②長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～	60
1) 長寿命化の効果	60
2) 長寿命化計画によるコストの見通し	60
3) 維持・更新の課題と今後の方針	61
第7章 長寿命化計画の継続的運用方針	62
①情報基盤の整備と活用	62
②推進体制等の整備	62
③フォローアップ	63

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

①背景

我が国の公立学校施設は、第2次ベビーブーム世代の増加に伴い、昭和40年代後半から50年代にかけて多く建築されましたが、それらの施設が今、一斉に更新時期を迎えつつあり、老朽化の波が押し寄せています。

学校施設は、未来を担う子供たちが集い、生き生きと学び、生活をする場として学校教育活動を行うための基本的な教育条件であるため、充実した教育活動を存分に展開できるよう、機能的な施設環境を整えるとともに、豊かな人間性を育むのにふさわしい、快適で十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた安全・安心なものである必要があります。

また、地域住民にとっては生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場であり、非常災害時には避難所としての役割も果たす重要な施設です。

大刀洗町（以下、「本町」と言います。）は、2013年（平成25年）度時点、学校施設として5施設（総延床面積 33,447 m²）を有しており、延床面積で見ると、全ての町所有公共施設の56.8%を占めています。

昭和40年代から50年代に建築された施設が多数あり、築30年を経過した施設が半数以上あることから、今後、約20年の間に多くの小中学校で耐用年数が到来することが見込まれます。

また、本町においても人口の減少が予測されており、少子高齢化の進展による人口構造の変化により、本町の財政面でも厳しい状況となることが予想されます。

②目的

現在、本町では、公共施設やインフラ全体における整備の基本的な方針として「大刀洗町公共施設等総合管理計画（第2版）」（以下、「総合管理計画」と言います。）を平成29年3月に策定し、限られた財源の中で、施設を安全・安心に利用できるよう、また、適正な規模や配置等により、町民サービスの維持・向上が図れるよう取り組みを進めているところです。

本計画は、この総合管理計画に基づき、学校施設に関する個別施設計画として、学校施設を対象に現地調査等を踏まえて現状の評価を行い、ライフサイクルコスト、保全優先度等を勘案しつつ、今後の維持保全の方向性を検討し、部位別や学校別の優先順位を考え、整備内容、時期、費用等の具体的な計画（以下「長寿命化計画」と言います。）を策定することを目的とします。

本計画に基づき、学校施設の長寿命化を図ることにより、トータルコストの縮減と平準化を図り、厳しい財政状況においても計画的に保全を実施することで、長く安心安全な学校施設を維持するとともに、多様化する教育環境へ対応していきます。

③計画期間

平成 31 年 (2019 年) ~ 2056 年 (5 年ごとに見直し)

本計画は総合管理計画における個別施設計画として位置づけられることから、総合管理計画に位置付けられた計画期間に基づき 38 年後の 2056 年を計画の目標年とし、実施については、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、P D C A サイクルによる実行システムを構築した上で、計画を 5 年ごとに見直すものとします。

④対象施設

本計画の対象施設は、学校施設として所有している 5 施設とします。

学校施設	
町立小学校	4 校
町立中学校	1 校
合計	5 校

また、本計画における長寿命化計画の対象建物は、学校施設のうち、長寿命化事業によるコスト低減効果の薄い小規模の建物を除く 17 棟を対象とします。

対象建物の延床面積合計は、27,163 m²であり、本町の学校施設全体の延床面積合計の 81.2% に当たります。

具体的な対象建物は、3 ページに示す対象建物一覧に示す建物です。

本計画の長寿命化計画対象建物は、小規模の建物を除く 17 棟(延床面積合計:27,163 m²)を対象とします。

表 対象建物一覧

No.	学校名	学校所在地	学校調査番号	建物区分	棟番号	枝番号	建物名	構造区分	階数	建築年月		築年数	延床面積
										元号	年		
1	タチアライ ショウガッコウ 大刀洗小学校	オオアザカミタカハシ 大字上高橋755-1	2491	校舎1	004		南校舎4	R	2	S	38	55	898
					006		南校舎6	R	2	S	39	54	799
					008		南校舎8	R	1	S	39	54	96
				校舎2	015		北校舎	R	2	H	01	29	1,820
					019		職員便所	S	1	H	22	08	29
				校舎3	014		給食室	R	1	S	61	32	566
				屋内体育館	013		屋内運動場	R	1	S	48	45	600
017		体育倉庫	S		1	H	08	22	24				
2	キクチ ショウガッコウ 菊池小学校	オオアザヤマグマ 大字山隈1344-3	2492	校舎1	022		教室棟	R	2	S	62	31	1,745
					023		渡り廊下	R	1	S	62	31	172
					024		便所	R	1	S	62	31	25
					032		昇降口	R	2	H	29	01	107
				校舎2	011		教室棟	R	2	S	45	48	869
					013			R	1	S	49	44	408
					014			R	1	S	49	44	26
					018		教室棟	R	2	S	53	40	487
					027		女性更衣室	R	1	H	02	28	22
				校舎3	029		中庭出入口	R	1	H	02	28	7
					020		給食室	R	1	S	58	35	156
				屋内体育館	021		食堂	R	1	S	58	35	499
					015		屋内運動場	R	1	S	50	43	600
028		倉庫	S		1	H	02	28	22				
3	ホンゴウショウガッコウ 本郷小学校	オオアザホンゴウ 大字本郷4669-1	2493	校舎1	016		校舎	R	3	S	56	37	3,552
					018		食堂	R	1	S	56	37	332
					019		給食室	R	3	S	56	37	141
				屋内体育館	015		屋内運動場	R	1	S	52	41	782
					021		倉庫	S	1	H	22	08	21
4	オオゼキショウガッコウ 大堰小学校	オオアザモリベ 大字守部465	2494	校舎1	003		北棟校舎	R	2	S	38	55	1,132
					004			R	2	S	39	54	389
					016		昇降口	S	1	H	21	09	125
				017		便所	S	2	H	01	29	6	
				校舎2	011		南棟校舎	R	2	S	45	48	685
				校舎3	014		特別教室棟・給食室	R	2	S	61	32	905
屋内体育館	012		屋内運動場	R	1	S	52	41	782				
5	タチアライ チュウガッコウ 大刀洗中学校	オオアザホンゴウ 大字本郷515	4705	校舎1	022		北校舎	R	3	H	19	11	4,150
					019		給食室	R	1	H	18	12	490
				校舎2	015		南校舎	R	2	S	63	30	2,753
					009	1	屋内運動場	R	1	S	42	51	795
				屋内体育館	009	2	倉庫	S	1	S	61	32	40
018		屋内運動場	S		1	H	01	29	106				

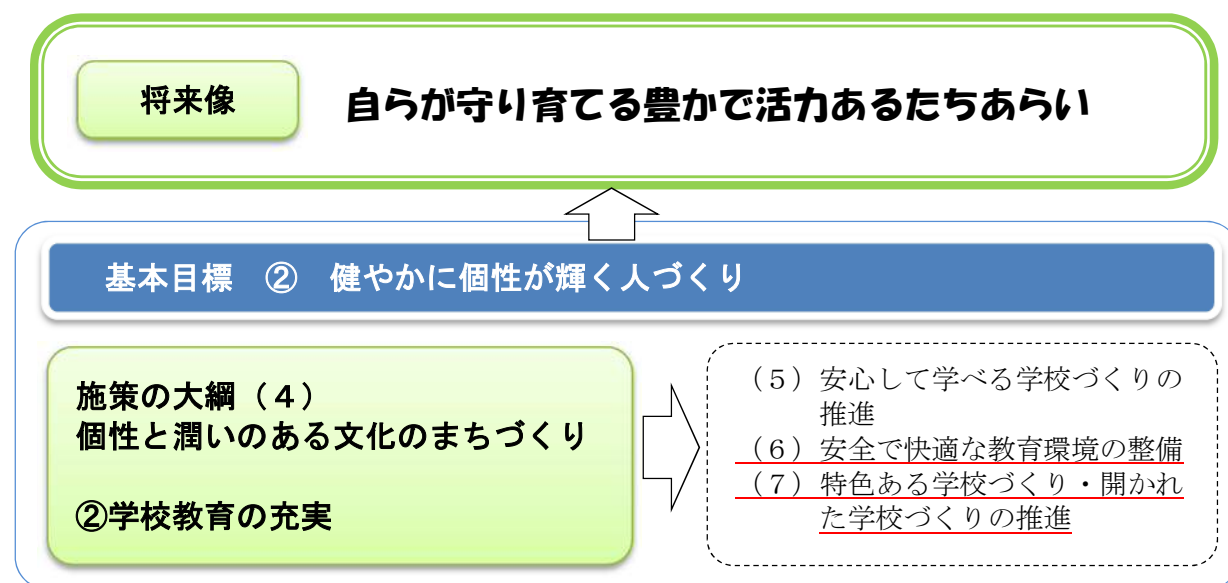
：築30年以上

：築50年以上

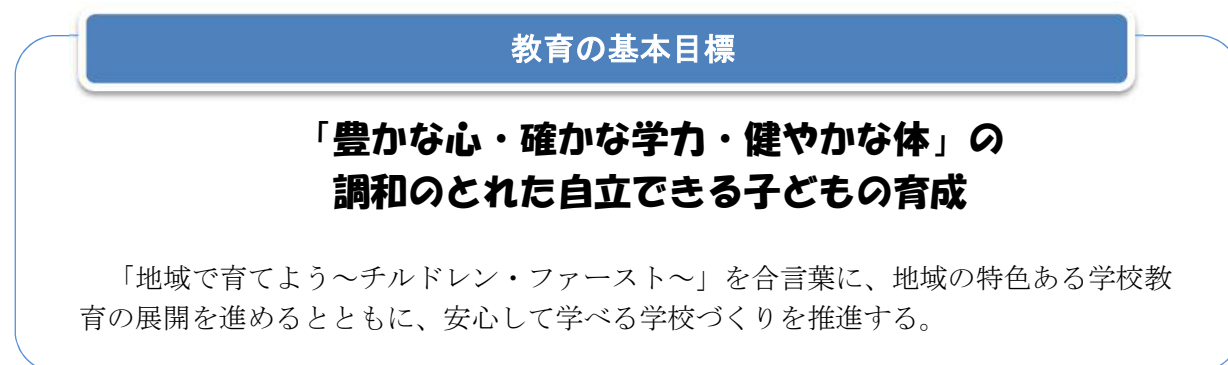
第2章 学校施設の目指すべき姿

平成 30 年度に目標年度を迎える第 4 次大刀洗町総合計画では、基本構想において本町の将来像を『自らが守り育てる豊かで活力あるたちあらい』と定め、3つの基本目標の一つに「健やかに個性が輝く人づくり」を掲げ、確かな学力を育み、豊かな人間性と志をもってたくましく生きる力を養う教育を推進し、明日の大刀洗町を担う青少年が育つ環境をつくることとしています。

また、「施策の大綱」の中でも、個性や能力を伸ばすとともに、豊かな心や志をもってたくましく生きる力を培う一層の教育内容の充実とともに、特別支援教育の充実や安全で安心な学校づくりを推進することとしています。



また、『大刀洗町教育施策要綱（平成 30 年度）』の中で、基本理念を以下のように掲げています。



本計画は、第 4 次大刀洗町総合計画及び総合管理計画に基づき、『教育施策要綱』を実践するフィールドとしての学校施設の整備・管理を定めるものであり、本町の教育が目指す**「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の調和のとれた自立できる子どもの育成**を実現する施設のあり方を検討します。

前述の「教育の基本目標」を実現するための施設であることを前提とし、総合管理計画における、本町の公共施設のあり方についての内容を踏まえつつ、「学校施設整備基本構想の在り方について」（学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議 平成 25 年 3 月）を参考として、本町における学校施設の目指すべき姿を以下のように設定します。

1. 学習活動への適応性を確保する教育環境の整備（学習空間の充実）

- ・学校施設は、基礎的・基本的な学力の定着を図る子供たちの学習・生活の場であり、学校教育活動を行うための基本的な教育条件であるため、充実した教育活動を存分に展開できるよう、機能的な施設環境を整えます。
- ・地球温暖化等の環境問題に対応するため、環境を考慮した学校施設であるエコスクール化を推進することや、教育内容・方法等の変化、教育の情報化、バリアフリー化等の様々な社会的要請に適切に対応するため、教育環境の質的向上を図ります。

2. 安全性・快適性を備えた施設環境の実現（生活空間の充実）

- ・学校は、児童・生徒にとって「学びの場」であるとともに1日の約3分の1を過ごす「生活の場」であることから、豊かな人間性を育むのにふさわしい、快適で十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた安全・安心な施設環境を整えます。
- ・学習能率の向上に資する快適な学習環境を備えるとともに、児童・生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校施設を目指します。
- ・学校施設は、日頃、学校を訪れない保護者や子どもたち等が、相談や学校行事の際に教員・施設を訪れやすい空間として、また、教職員の職務や活動に配慮した空間・環境を整えます。

3. 地域活動の拠点施設としての施設整備（地域との連携の充実）

- ・学校施設は、地域住民にとって最も身近な施設であり、生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場として、また、地震等の非常災害時には避難所としても重要な役割を担っているため、必要に応じ他の文教施設や高齢者福祉施設との連携の推進や防災機能の強化を図ります。
- ・学校が社会全体で子供たちの学びを支援する場となり、地域の振興・再生にも貢献するコミュニティの拠点としての役割を果たすよう、地域の実情に応じ、学校施設と他の公共施設等の複合化を進めていきます。

第3章 学校施設の実態

①学校施設の運営状況・活用状況等の実態

1) 対象施設一覧

本町の各学校施設の保有教室の種類・用途は、以下のとおりです。

なお、生徒数の増減により余裕教室となった教室については、少人数教室や相談室として活用しており、現時点では未活用余裕教室はない状況です。

表 対象施設の学級数・設置年度

No.	学校名	学校所在地	児童・生徒数		学級数		児童・生徒数（通常学級内訳）						設置年度	
			通常学級	特別支援学級	通常学級	特別支援学級	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	元号	年
1	大刀洗小学校	大字上高橋755-1	161	11	7	3	36	24	22	25	30	24	M	25
2	菊池小学校	大字山隈1344-3	304	23	11	4	49	53	64	40	57	41	S	26
3	本郷小学校	大字本郷4669-1	245	17	10	3	41	45	37	47	41	34	M	25
4	大堰小学校	大字守部465	110	9	6	4	13	26	15	16	23	17	M	43
小計			820	60	34	14	139	148	138	128	151	116		
5	大刀洗中学校	大字本郷515	400	18	12	4	128	140	132	—	—	—	S	37
合計			1,220	78	46	18	267	288	270	128	151	116		

資料：学校施設台帳

2) 児童・生徒数及び学級数の変化

(1) 本町の人口の見通し

本町における近年の総人口推移は、平成 17 (1995) 年の 15,400 人をピークに平成 27 (2015) 年の 15,138 人まで減少しています。

これは、第 4 次総合計画において目標としていた総人口を下回るものです。

なお、平成 30 年に公表された国立社会保障・人口問題研究所 (社人研) の推計では、2045 年にかけて総人口が大きく減少する結果となっています。

平成 27 年 12 月に策定された本町の人口ビジョンでは、出生率の向上や転出入の改善により 2060 年にかけて社人研の推計ほど減少させない展望を持っています。

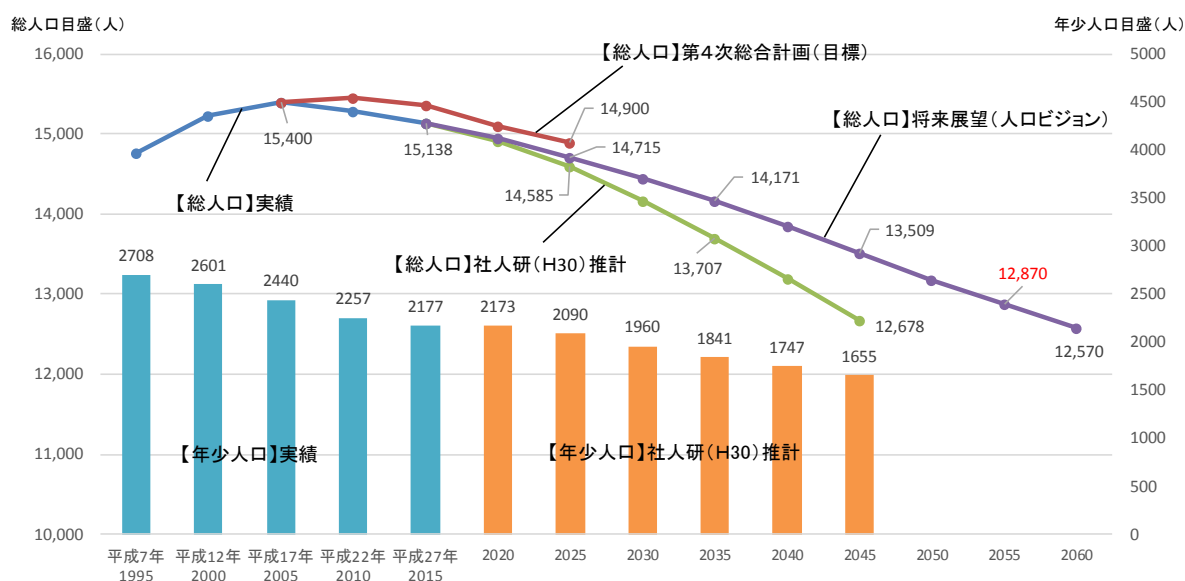


図 本町の総人口・年少人口の推移と将来予測

資料：国勢調査、第 4 次総合計画、社人研 (H30) 推計、大刀洗町人口ビジョン

(2) 児童・生徒数の推移

学校別に児童・生徒数をみると、小学校では菊池小学校の児童数が最も多く、次いで本郷小学校の順になっています。

児童・生徒数の推移をみると、菊池小学校、本郷小学校は、横ばい傾向にあります。大刀洗小学校、大堰小学校は、近年増加傾向にあります。

大刀洗中学校の生徒数も減少傾向にありましたが、近年、増加傾向に転じています。

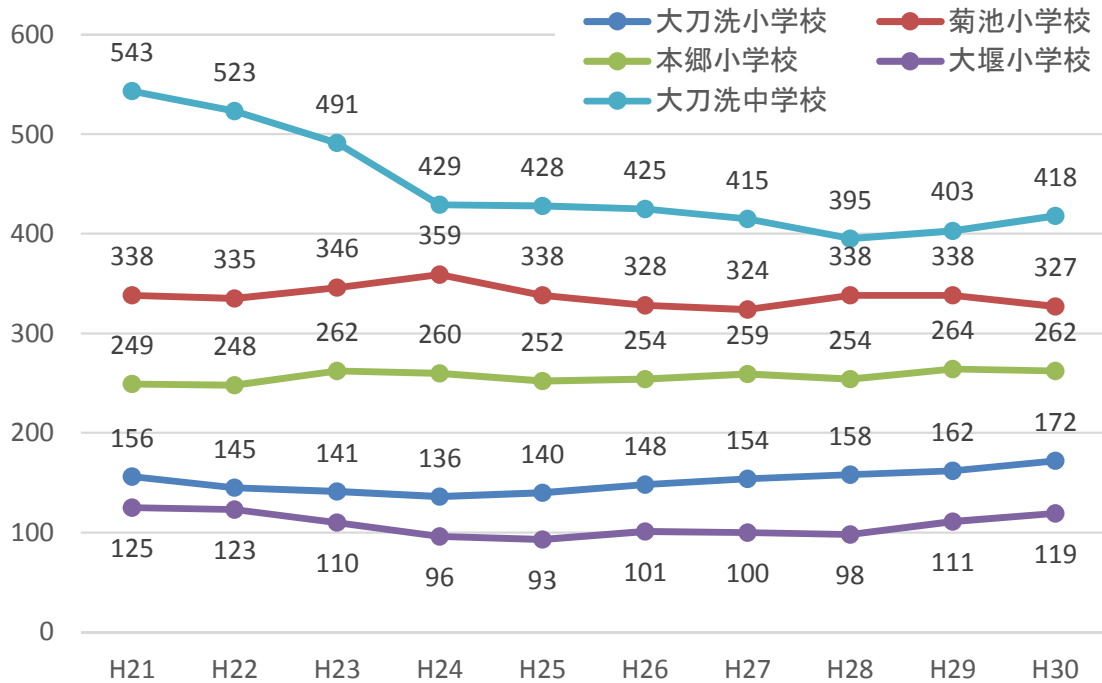
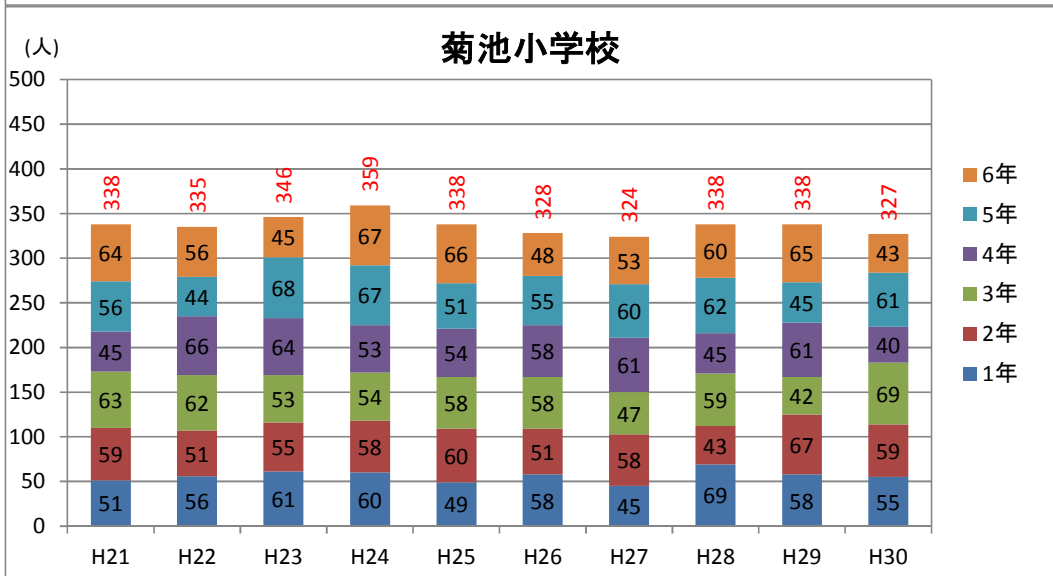
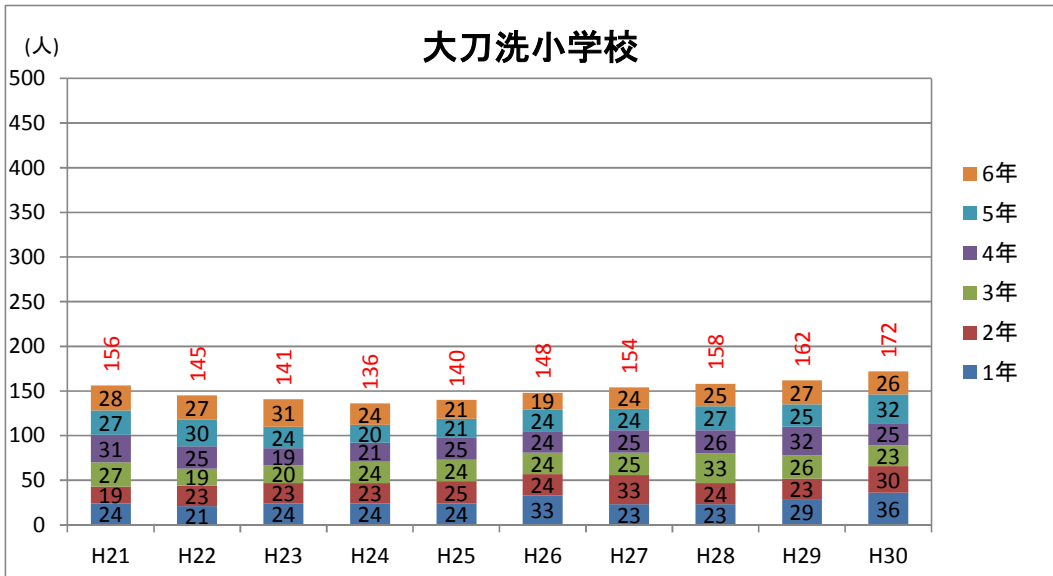
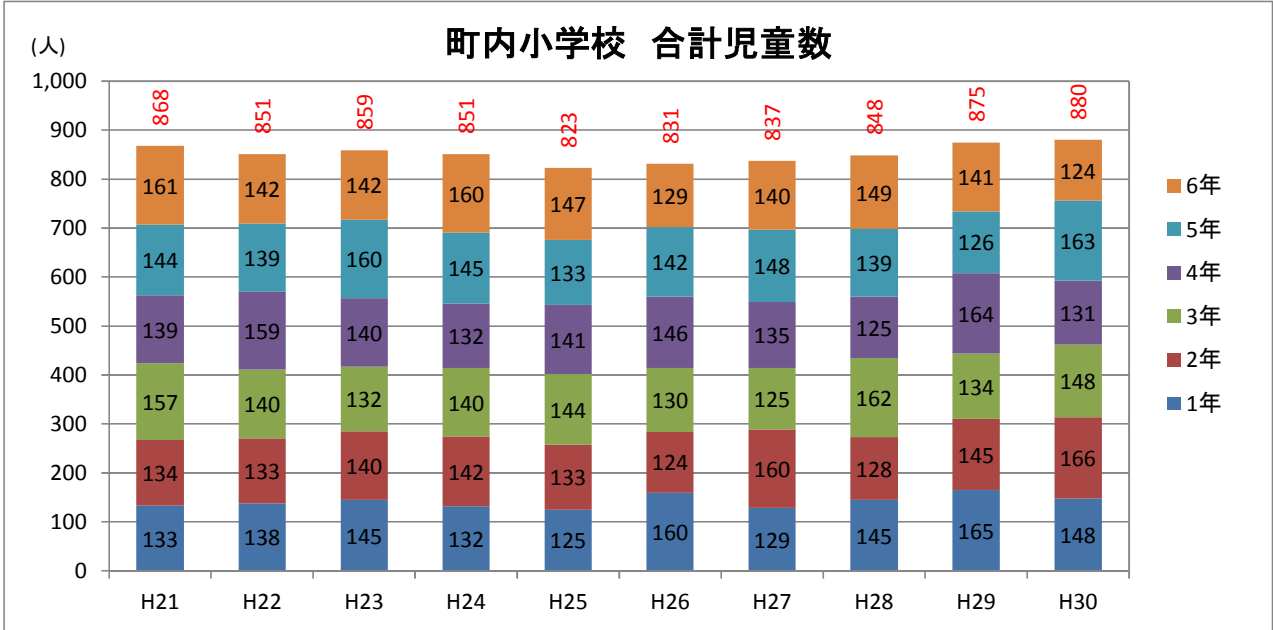
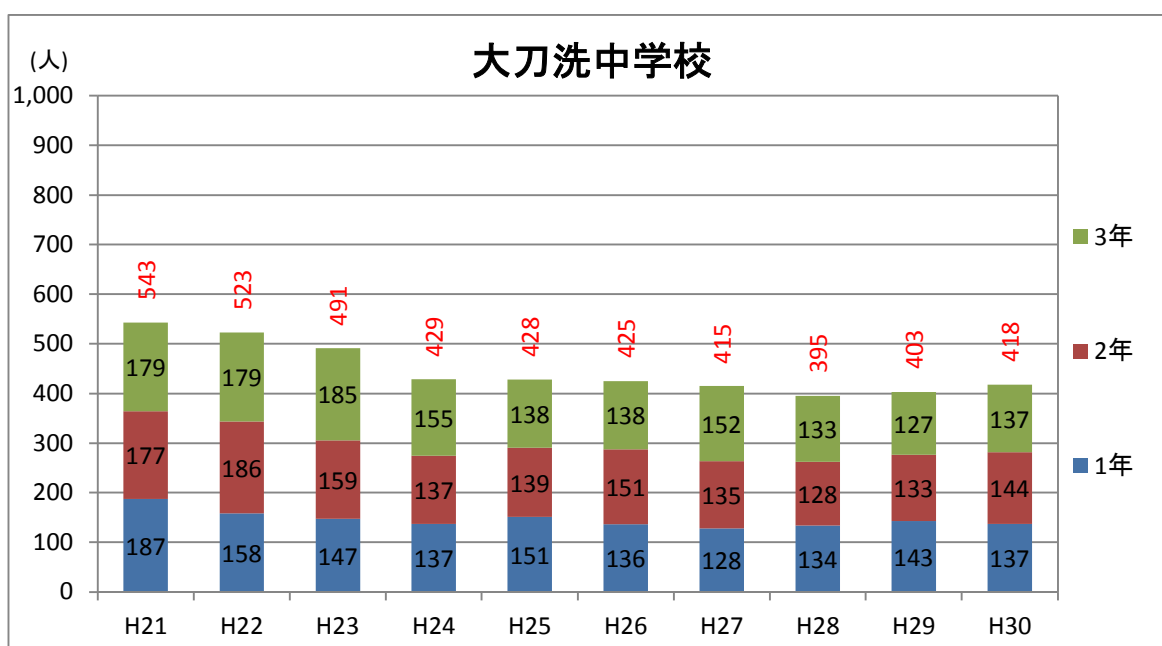
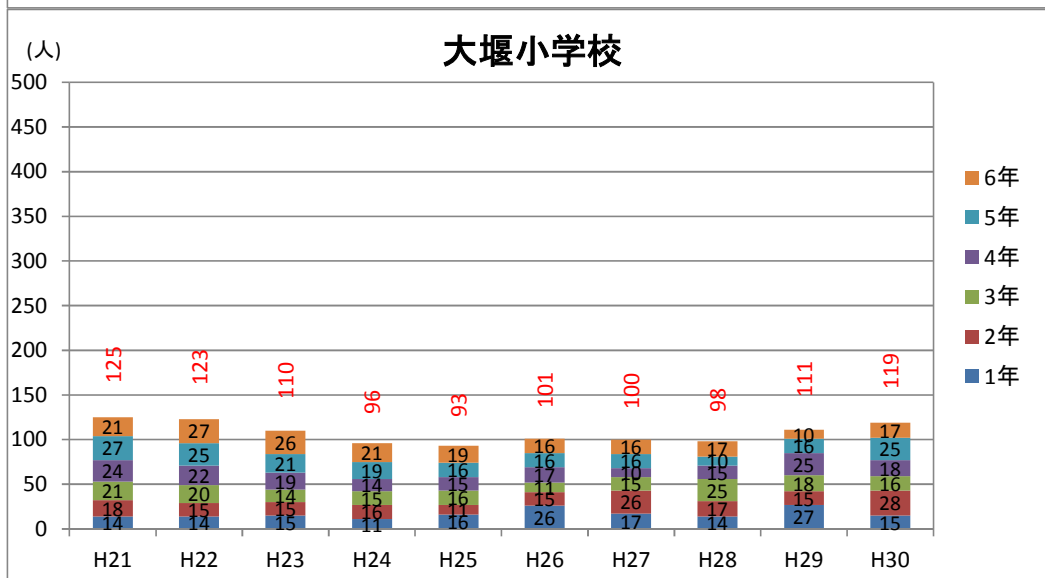
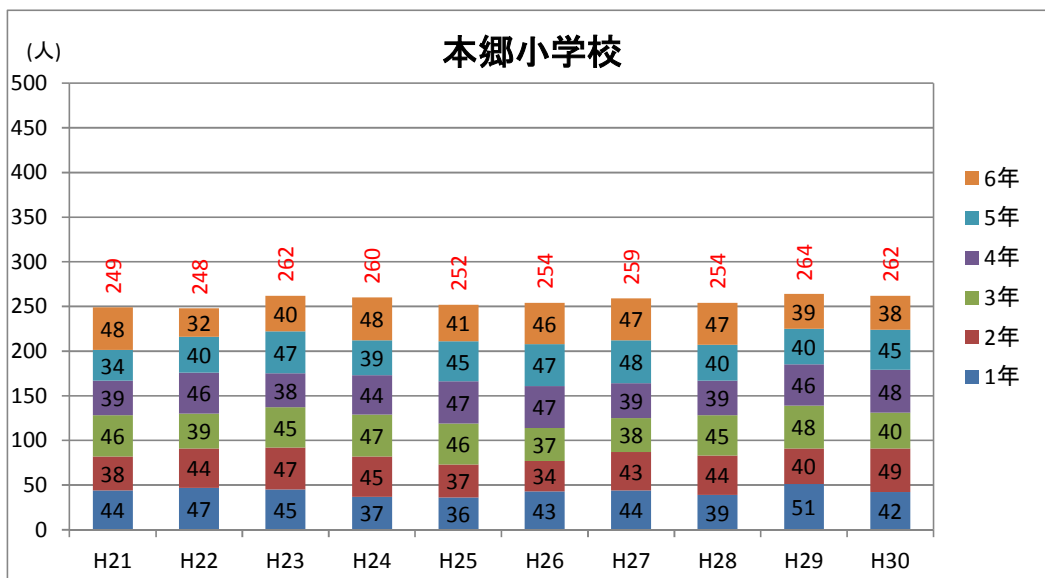


図 本町の小中学校の児童・生徒数の推移

資料：庁内資料





(3) 児童・生徒数の見通し

近年の児童・生徒数の推移から、本計画の目標年に近い 2058 年の児童・生徒数の将来推計を行った場合、児童数・生徒数は 1,447 人と試算され、これは、現在の約 111%となります。

また、学級数について過去 10 年間の学級あたり児童・生徒数の平均から試算すると、目標年次に近い 2058 年の学級数は 67 学級と試算され、現在より 3 学級多くなっています。

(注：本見通しは文部科学省の手引き内容に沿った推計結果であり、他の推計結果における見通しとは異なることがあります)

表 児童数・生徒数の推移と将来推計

	これまでの推移										将来推計	
	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	2038	2058
児童数	868	851	859	851	823	831	837	848	875	880	930	1,017
生徒数	543	523	491	429	428	425	415	395	403	418	413	430
合計	1,411	1,374	1,350	1,280	1,251	1,256	1,252	1,243	1,278	1,298	1,343	1,447

表 学級数の推移と将来推計

	これまでの推移										将来推計	
	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	2038	2058
小学校	41	42	43	44	41	44	44	45	47	48	48	52
中学校	16	16	15	14	14	14	15	15	15	16	14	14
合計	57	58	58	58	55	58	59	60	62	64	62	67



図 児童数・生徒数・学校あたり学級数の推移と将来推計

※推計方法について

児童数・生徒数の将来推計方法（変化率法による推計）

児童数・生徒数の将来推計については、過去10年間の各学年の児童数、生徒数を基本母集団数として、次年度に昇級（例えば小学校1年生が小学校2年生に昇級、小学校6年生が中学校1年生に昇級）する際の変化率を求め、将来の各学年の児童数、生徒数を推計した。

その場合、過去10年間の各学年の変化率は、転入・転出による社会増減及び死亡による自然増減を加味していると考えられることから、今後も一定であると仮定する。

小学校1年生の児童数は、5歳児数からの変化率から求め、5歳児数の将来推計については、人口ビジョンにおける合計特殊出生率の伸び率から推計した。

表 児童数・生徒数の変化率

		2009	2010	2011		2012		2013		2014		2015		2016		2017		2018		
		H21	H22	H21→H22	H23	H22→H23	H24	H23→H24	H25	H24→H25	H26	H25→H26	H27	H26→H27	H28	H27→H28	H29	H28→H29	H30	H29→H30
	5歳 ※住民課資料	145	145		139		128		157		129		143		165		154		166	
小学校	小1 5歳→小1	133	138	0.9517	145	1.0000	132	0.9496	125	0.9766	160	1.0191	129	1.0000	145	1.0140	165	1.0000	148	0.9610
	小2 小1→小2	134	133	1.0000	140	1.0145	142	0.9793	133	1.0076	124	0.9920	160	1.0000	128	0.9922	145	1.0000	166	1.0061
	小3 小2→小3	157	140	1.0448	132	0.9925	140	1.0000	144	1.0141	130	0.9774	125	1.0081	162	1.0125	134	1.0469	148	1.0207
	小4 小3→小4	139	159	1.0127	140	1.0000	132	1.0000	141	1.0071	146	1.0139	135	1.0385	125	1.0000	164	1.0123	131	0.9776
	小5 小4→小5	144	139	1.0000	160	1.0063	145	1.0357	133	1.0076	142	1.0071	148	1.0137	139	1.0296	126	1.0080	163	0.9939
	小6 小5→小6	161	142	0.9861	142	1.0216	160	1.0000	147	1.0138	129	0.9699	140	0.9859	149	1.0068	141	1.0144	124	0.9841
中学校	中1 小6→中1	187	158	0.9814	147	1.0352	137	0.9648	151	0.9438	136	0.9252	128	0.9922	134	0.9571	143	0.9597	137	0.9716
	中2 中1→中2	177	186	0.9947	159	1.0063	137	0.9320	139	1.0146	151	1.0000	135	0.9926	128	1.0000	133	0.9925	144	1.0070
	中3 中2→中3	179	179	1.0113	185	0.9946	155	0.9748	138	1.0073	138	0.9928	152	1.0066	133	0.9852	127	0.9922	137	1.0301

表 変化率を用いた将来推計

		2028	2038	2048	2058
		H40推計	H50推計	H60推計	H70推計
過去10年間 変化率平均	5歳	167	180	186	189
5歳→小1	0.98578	小1 164	164	177	183
小1→小2	0.99908	小2 148	163	164	177
小2→小3	1.01299	小3 168	150	166	166
小3→小4	1.00691	小4 149	169	151	167
小4→小5	1.01132	小5 132	151	171	153
小5→小6	0.99807	小6 163	132	150	171
	小学校	924	930	979	1,017
小6→中1	0.97012	中1 120	158	128	146
中1→中2	0.99330	中2 136	119	157	127
中2→中3	0.99944	中3 144	136	119	157
	中学校	400	413	404	430

小中学校計 1,324 1,343 1,384 1,447

※5歳児数の推計は、合計特殊出生率の伸び率により推計。

表 学級数の推計

過去10年間の平均学級あたり
児童数・生徒数

小学校	19.5
中学校	29.8



学級数の推計

	2038 推計	2058 推計
小学校	48	52
中学校	14	14
合計	62	67

表 将来合計特殊出生率の伸び

(実績)2015年	1.56		5年平均
2030年	1.76	1.1331	中間年仮説
(目標)2040年	1.90	1.2219	伸び率
2050年	1.97	1.2647	中間年仮説
(目標)2055年	2.00	1.2862	伸び率

資料：大刀洗町人口ビジョン

※2040年、2055年は公開値、2030年、2050年は仮定値

【参考】国立社会保障・人口問題研究所における人口推計

社人研推計

	2015	2040	2045
H27	H42	H52	
実績	推計	推計	
年少人口 比率(対H27)	2.177	1.747	1.655
	0.8025	0.7602	



児童数・生徒数の推計

	2015 実績	2030 推計	2045 推計
小学校	837	672	636
中学校	415	333	315
小中学校計	1,252	1,005	952

3) 学校施設の配置状況

長寿命化計画の対象施設は、町中央部の国道 322 号付近に大刀洗中学校が配置され、国道 322 号沿道付近には、大刀洗小学校、本郷小学校が配置されています。

また、北部の国道 500 号に近接した菊池小学校、南部に大堰小学校が配置されています。

本郷小学校は、西鉄甘木線の本郷駅に近接し、菊池小学校は、甘木鉄道の西太刀洗駅に近接した位置にあります。

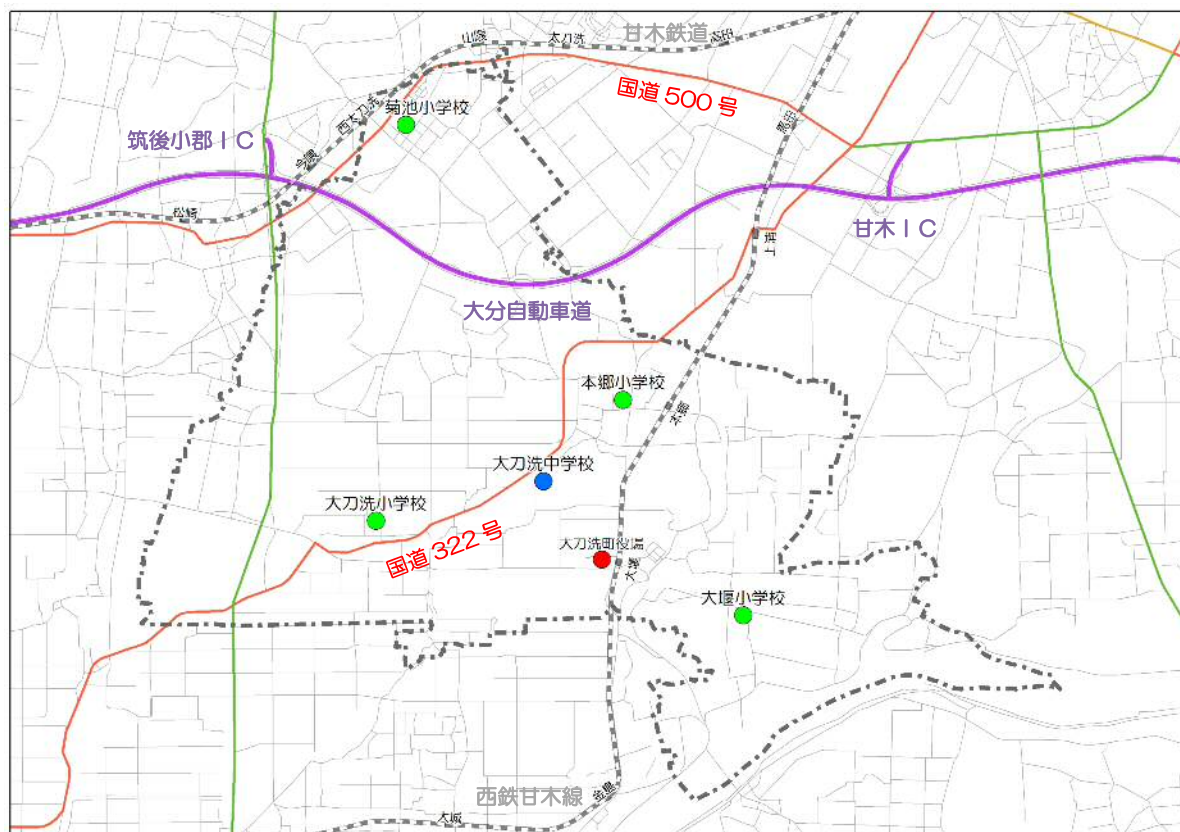


図 対象施設位置図

資料：国土数値情報ほか

(1) 学校施設の配置と人口分布及び見通し

平成 27 (2015) 年の「人口総数の分布図」と対象施設の配置の関係をみると、北部の菊池小学校周辺に最も人口が分布しています。

平成 27 (2015) 年の「年少人口の分布図」と対象施設の配置の関係をみると、北部の菊池小学校周辺に最も人口が分布しており、本郷小学校周辺にも分布しています。

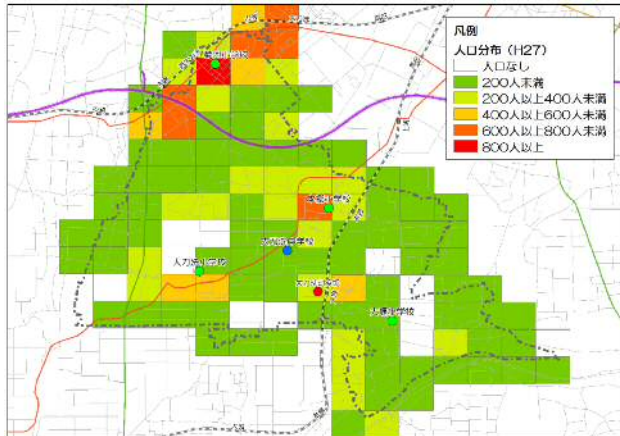


図 人口総数の分布 (H27)

資料：総務省統計 GIS

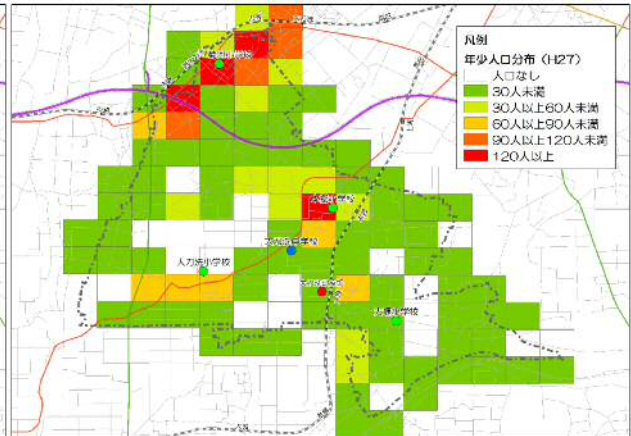


図 年少人口の分布 (H27)

資料：総務省統計 GIS

社人研が平成 22 年の国勢調査を基本に推計した人口に基づき配分した将来 (2045 年) 推計人口の分布をみると、全体的に人口が減少していますが、菊池小学校周辺の人口、年少人口は、他の地域に比べ人口が集積しています。

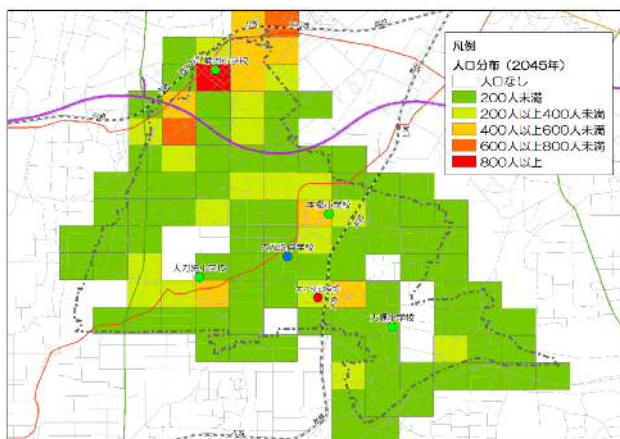


図 推計人口総数の分布 (2045 年)

資料：国土数値情報

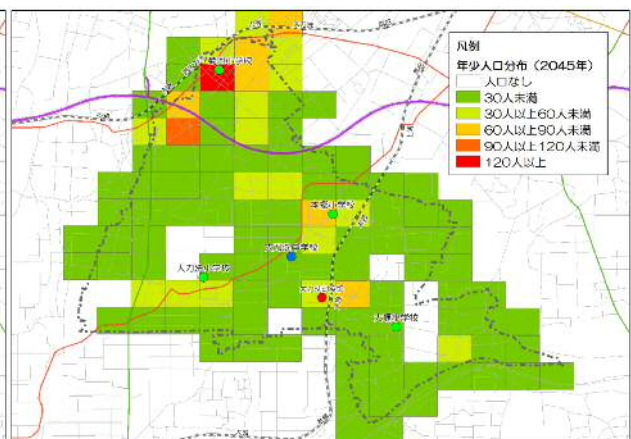


図 推計年少人口の分布 (2045 年)

資料：国土数値情報

前述の平成 27 (2015) 年の人口分布と将来 (2045 年) 推計人口の分布から、人口増減数と対象施設の配置の関係をみると、菊池小学校及び大堰小学校周辺は人口、年少人口ともに大きく減少しています。

年少人口においては、役場周辺など対象施設から離れたエリアで増加が見られ、大刀洗小学校、大堰小学校周辺には増加するエリアが若干多めにみられます。

人口増減率をみると、人口増減数に比べ、年少人口の増減率が大きいエリアが多く、特に増加率が高いエリアは、現在年少人口が少ないエリアに年少人口が増えることが想定されます。

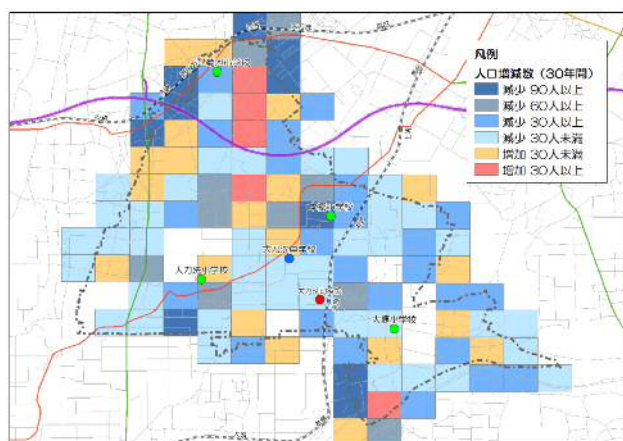


図 推計人口増減数 (2015⇒2045)

資料：総務省統計 GIS・国土数値情報

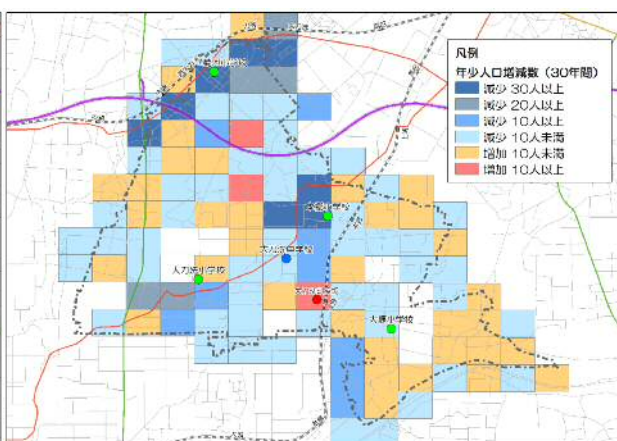


図 推計年少人口増減数 (2015⇒2045)

資料：総務省統計 GIS・国土数値情報

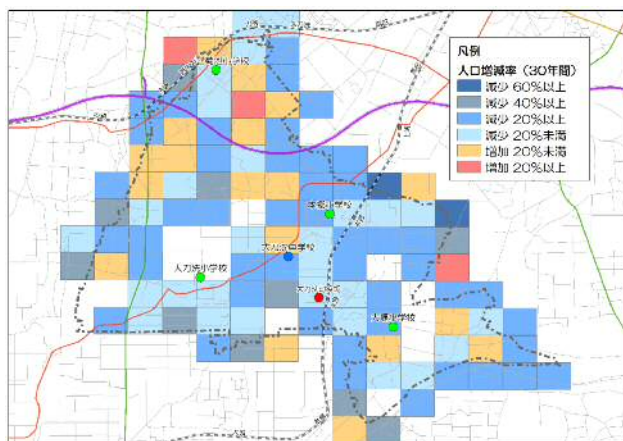


図 推計人口増減率 (2015⇒2045)

資料：総務省統計 GIS・国土数値情報

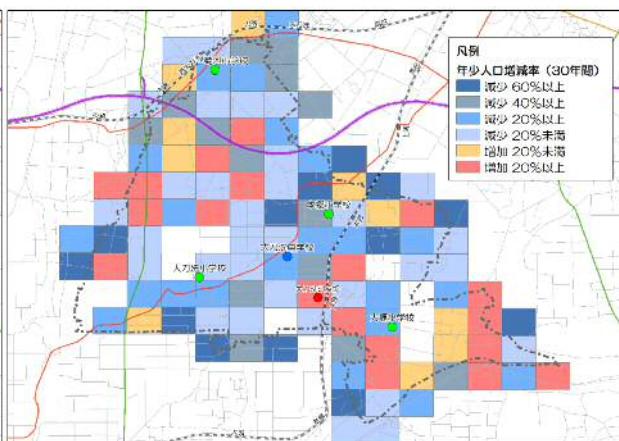


図 推計年少人口増減率 (2015⇒2045)

資料：総務省統計 GIS・国土数値情報

(2) 学校施設の配置と都市計画

都市計画法による指定区域と対象施設の配置の関係をみると、町域全体が都市計画区域に指定されている中、菊池小学校、本郷小学校は、用途地域指定区域内に配置されています。

いずれも第一種住居地域に指定された区域に位置し、周辺には低層住居専用地域が指定されるなど、良好な住環境の中に立地していることがうかがえます。

大刀洗小学校、大堰小学校、大刀洗中学校は、用途地域指定のない都市計画区域に位置しているため、田園環境に囲まれているものの、利便性の弱さがあるものと想定されます。

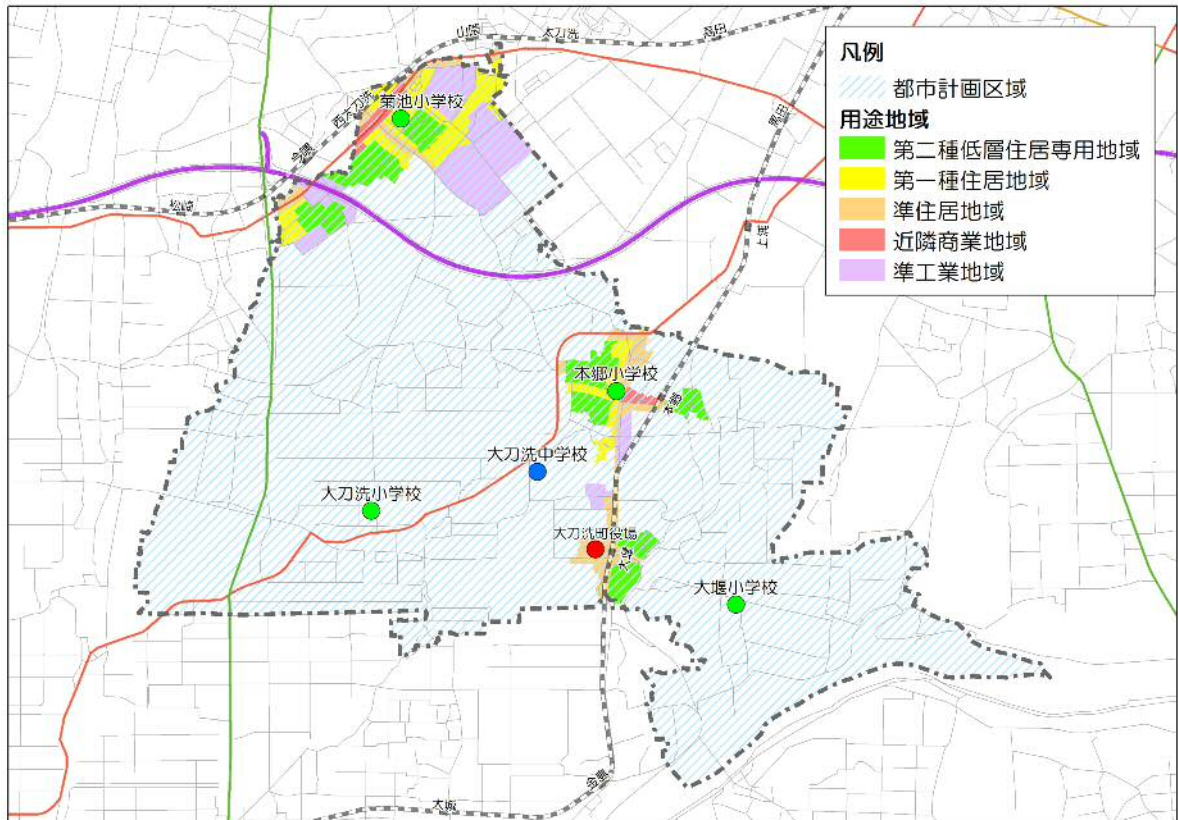


図 都市計画区域・用途地域

資料：国土数値情報ほか

(3) 学校施設の配置と災害リスク

河川氾濫による浸水想定区域と対象施設の配置の関係をみると、菊池小学校、本郷小学校を除く学校施設が浸水想定区域内に位置しています。

特に、大堰小学校は、想定される浸水深が 2.0m～5.0mの区域内に位置し、大刀洗小学校も施設自体は想定される浸水深が 1.0m～2.0mの区域内に位置していますが、周辺は浸水深が 2.0m～5.0mの区域が広がっています。

本郷小学校も施設自体は浸水想定区域外に位置していますが、周辺には浸水深が 0.5m～1.0mの区域の分布もみられます。

大刀洗中学校は、想定される浸水深が 0.5m～1.0mの区域内に位置しています。

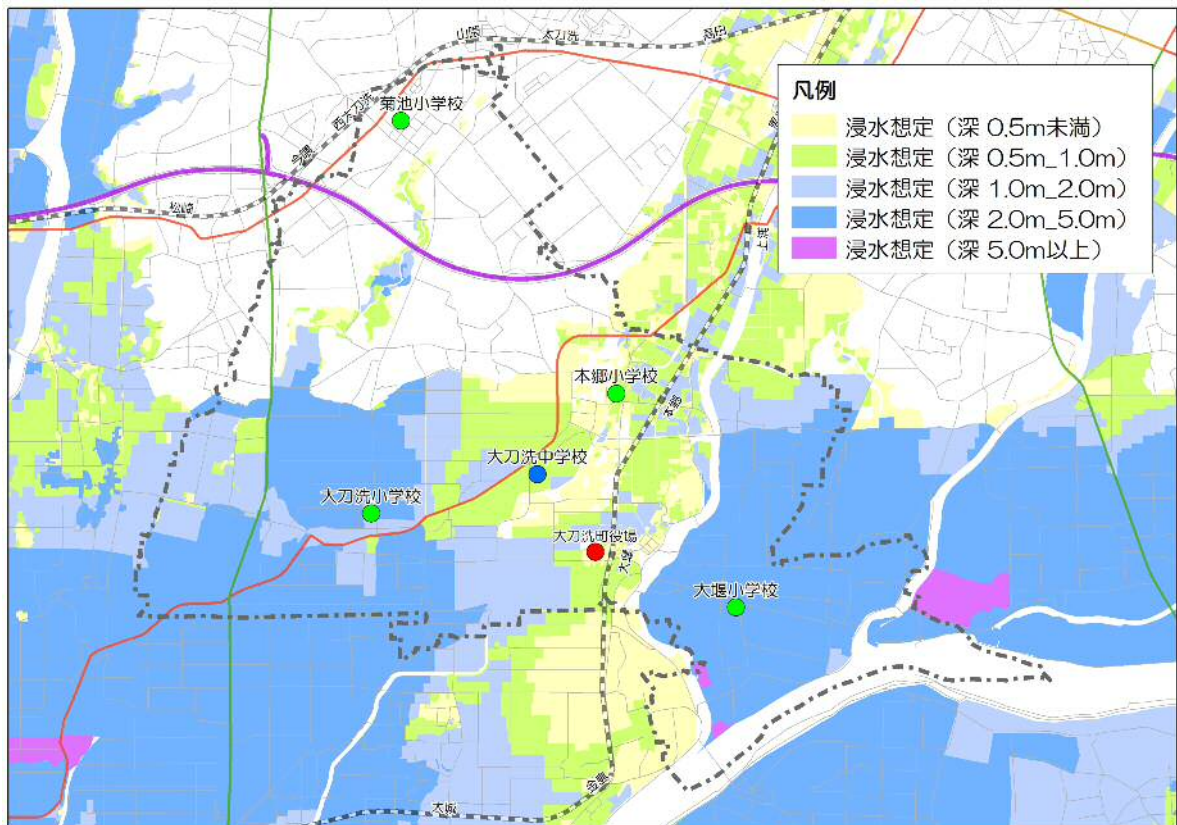


図 浸水想定区域

資料：国土数値情報ほか

4) 施設関連経費の推移

本町の学校施設に係るコスト状況について、過去 5 年間の施設整備費、運営費等（維持管理費、光熱水費等）を整理します。

全体で見ると、過去 5 年間のうち、平成 28 年度が最も多く、約 3 億円となっています。

これは、小学校の施設整備費が大きいことが影響しています。

中学校の施設整備費は、過去 5 年間では平成 26 年度のみとなっています。

維持管理費は、平成 28 年以降それより前に比べ大きくなっていますが、これは用務員の委託を始めたことが影響しています。

光熱水費・委託費は、平成 27 年以降それより前に比べ大きくなっていますが、これは給食調理の委託を始めたことが影響しています。

過去 5 年間の平均で見ると、総額で約 1.6 億円／年となっており、施設整備費は、約 7 千万／年となっています。

表 施設関連経費の推移

(単位：千円)

	H25	H26	H27	H28	H29	小_計	年平均
●小学校費							
施設整備費	61,114	52,485	165,168	17,503	61,831	358,101	71,620
その他の施設整備費	5,412	9,832	5,597	4,738	7,205	32,784	6,557
維持管理費	2,076	3,418	4,185	9,247	10,924	29,850	5,970
光熱水費・委託費	29,385	35,598	57,874	61,135	66,067	250,058	50,012
合計	97,987	101,333	232,823	92,623	146,027	670,793	134,159
●中学校費							
施設整備費		994				994	199
その他の施設整備費						0	0
維持管理費	598	923	938	2,238	2,040	6,737	1,347
光熱水費・委託費	12,471	11,592	29,990	27,914	29,326	111,293	22,259
合計	13,069	13,509	30,928	30,152	31,366	119,024	23,805
●全体費							
施設整備費	61,114	53,478	165,168	17,503	61,831	359,095	71,819
その他の施設整備費	5,412	9,832	5,597	4,738	7,205	32,784	6,557
維持管理費	2,674	4,341	5,122	11,485	12,964	36,587	7,317
光熱水費・委託費	41,856	47,190	87,864	89,049	95,393	361,351	72,270
合計	111,056	114,842	263,751	122,775	177,393	789,817	157,963

資料：庁内資料

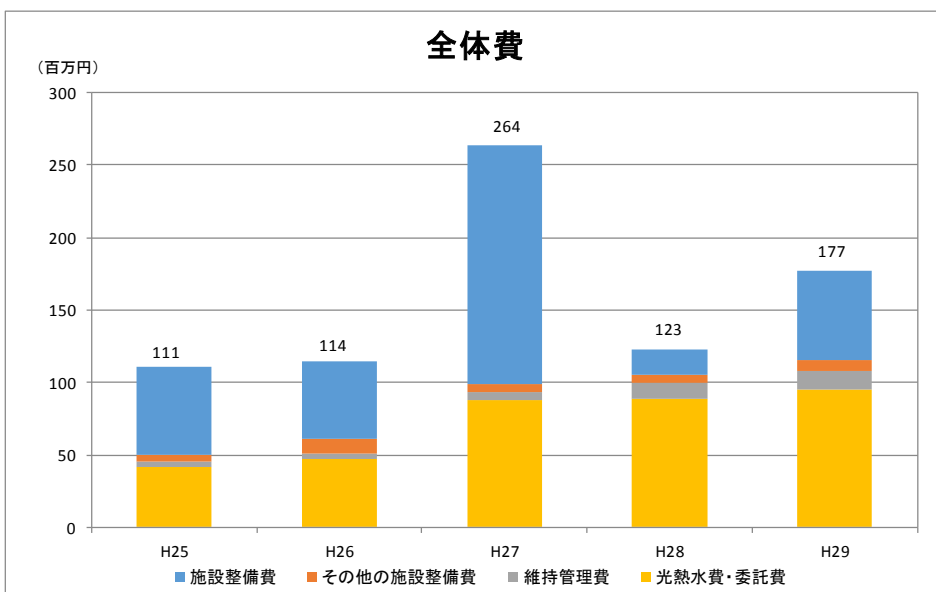
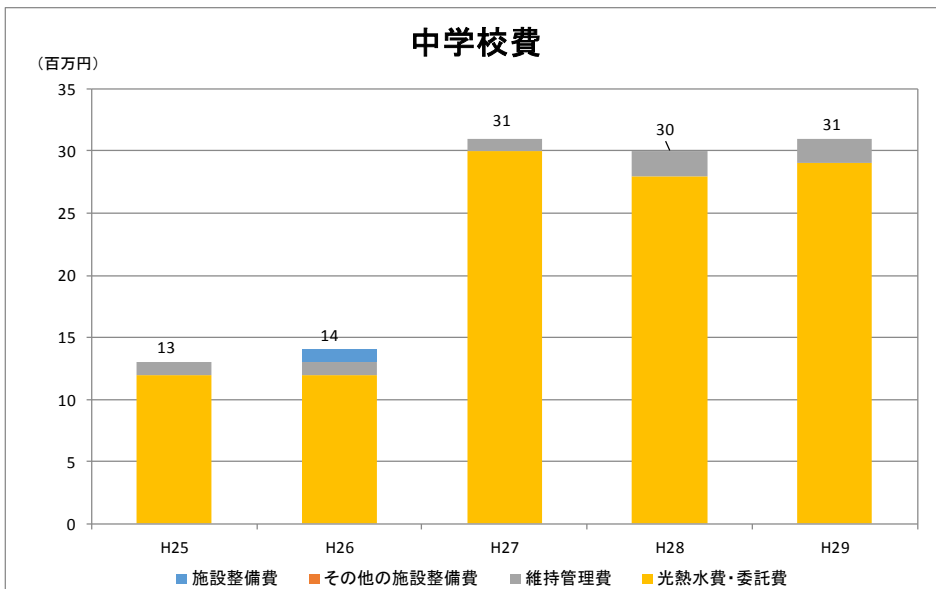
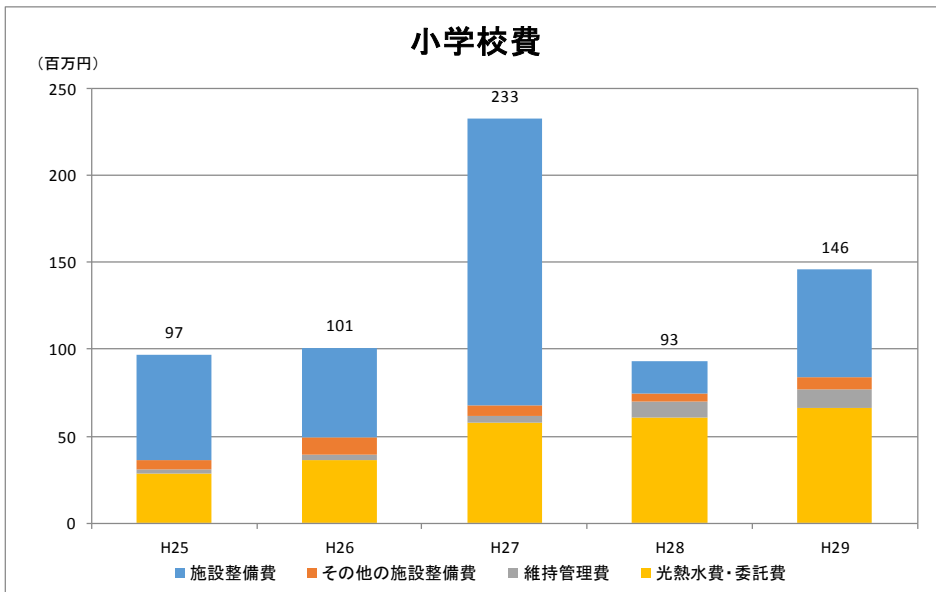


図 施設関連経費の推移（過去5年間）

5) 学校施設の保有量

本町が保有する公共施設の総延床面積は、平成 25 (2013) 年度時点で約 5.8 万㎡を超えており、そのうち、56.8%を学校施設が占めています。

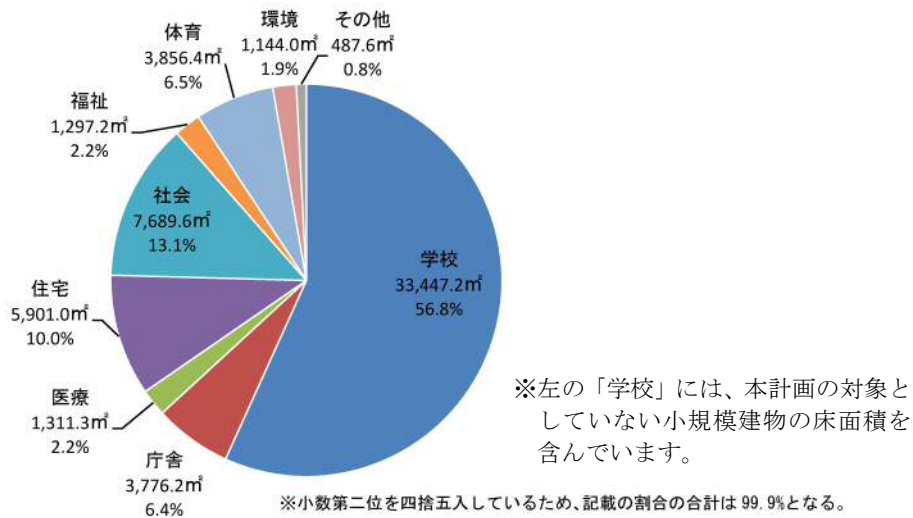


図 町が保有する公共施設の内訳 (延床面積)

資料：総合管理計画

長寿命化計画の対象施設 (17 棟) は、昭和 38 (1963) 年に建築された大刀洗小学校や大堰小学校の校舎など、築 50 年以上経過した建物が全延床面積の 16%あり、築 30 年以上経過した建物は、全延床面積の 76%あります。

また、旧耐震基準の建物は、全延床面積の 64%あります。

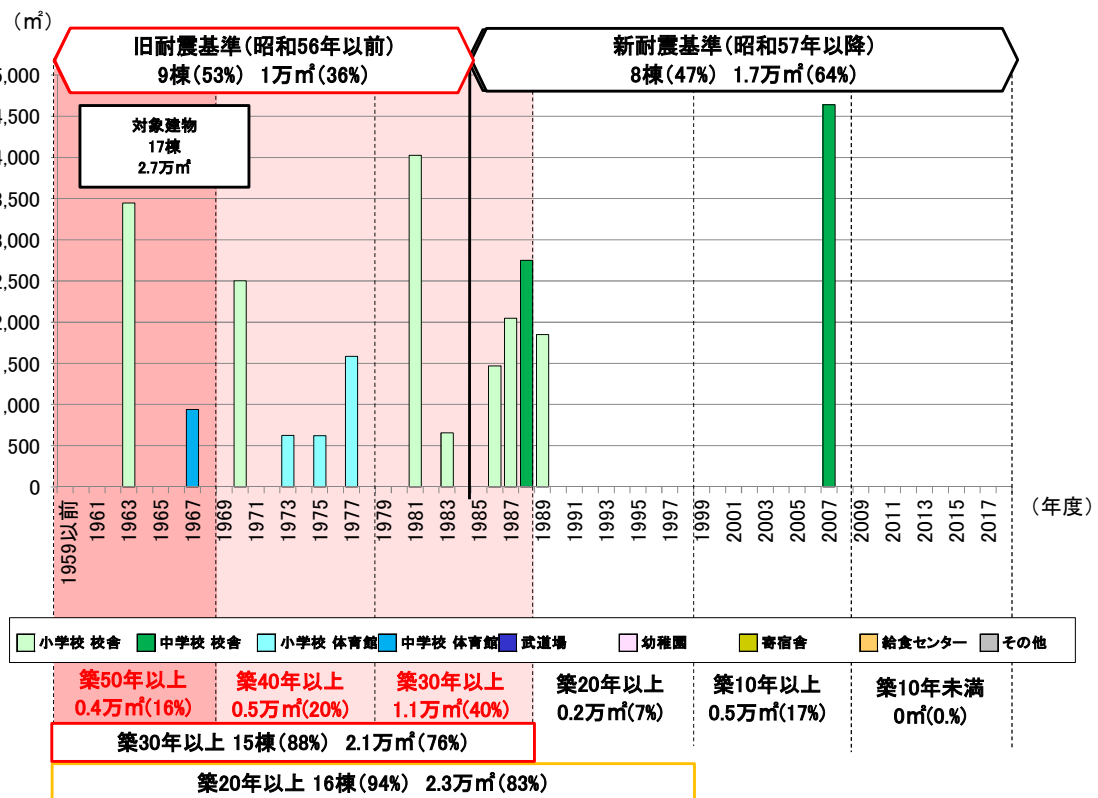


図 対象施設の築年別整備状況

※文部科学省エクセルソフトにより作成。

6) 今後の維持・更新コスト（従来型）

長寿命化計画の対象建物（17棟）について、従来の建替えを前提とした維持・更新を図るとした場合、今後40年間の維持・更新コストは、総額で約126億円が必要となり、年平均で約3.2億円が必要になると試算されます。

これは、過去5年間の年平均施設関連経費の約2倍にあたります。

特に、本計画の計画期間である今後10年では、改築が集中し、年平均の維持・更新コストは約6.4億円必要になると試算され、過去の年平均施設関連経費の約4倍となります。

また、2027年など、突出して維持・更新コストが必要になる年もみられます。

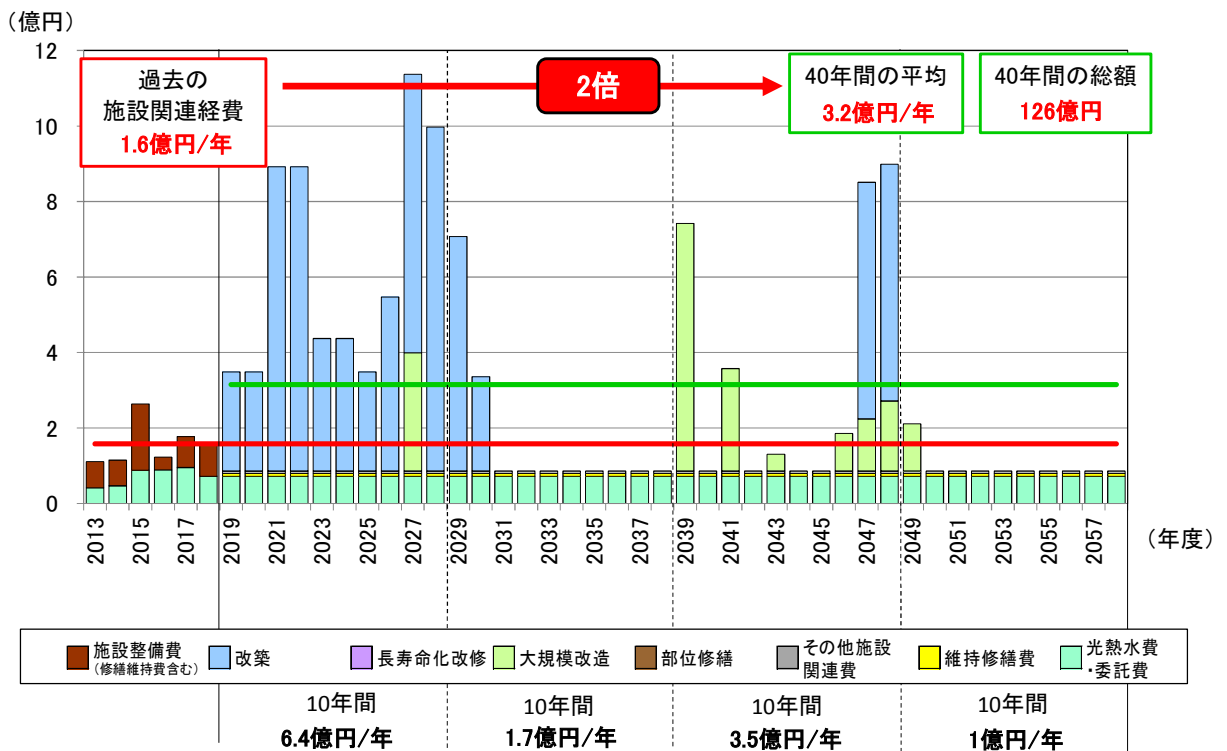


図 対象建物の今後の維持・更新コストの試算（従来型）

※文部科学省エクセルソフトにより作成。

基準年度 2018年
試算期間: 基準年の翌年度から40年間

改築

更新周期 40年 工事期間 2年
 改築単価 270,000円/m² 実施年数より古い建物の改修を10年以内に実施

大規模改造

実施年数 20年周期 工事期間 1年

7) 学校施設の活用状況

本町が保有する学校施設は、教育時間内の授業等のほか、様々な活用が図られています。

1. 学校施設の開放

本町が保有するすべての小学校及び中学校の屋外運動場及び屋内運動場は、「大刀洗町立小中学校の施設の開放に関する条例」に基づき、教育委員会の許可を受けた上で利用できることとなっています。

学校教育に支障のない範囲で、生涯学習、文化及びスポーツなどの地域の間として、住民の方に利用されています。

2. 災害・緊急時の避難場所としての活用

本町の地域防災計画において、すべての小学校及び中学校は、指定避難所に指定されています。

これらの施設は、災害により住居を喪失した住民を収容する施設として利用されます。

3. 「学童保育（放課後児童クラブ）」での活用

本町では「放課後児童健全育成事業」の一環として、町内の小学校区にそれぞれ学童保育所を設置しています。なお、本郷学童保育所及び大堰学童保育所を学校施設内に設置しています。

学童保育所では、保護者の就労等で放課後「保育が必要な子ども」を対象に、授業終了から午後6時（午後7時まで延長あり）までの間、児童の保育を行います。

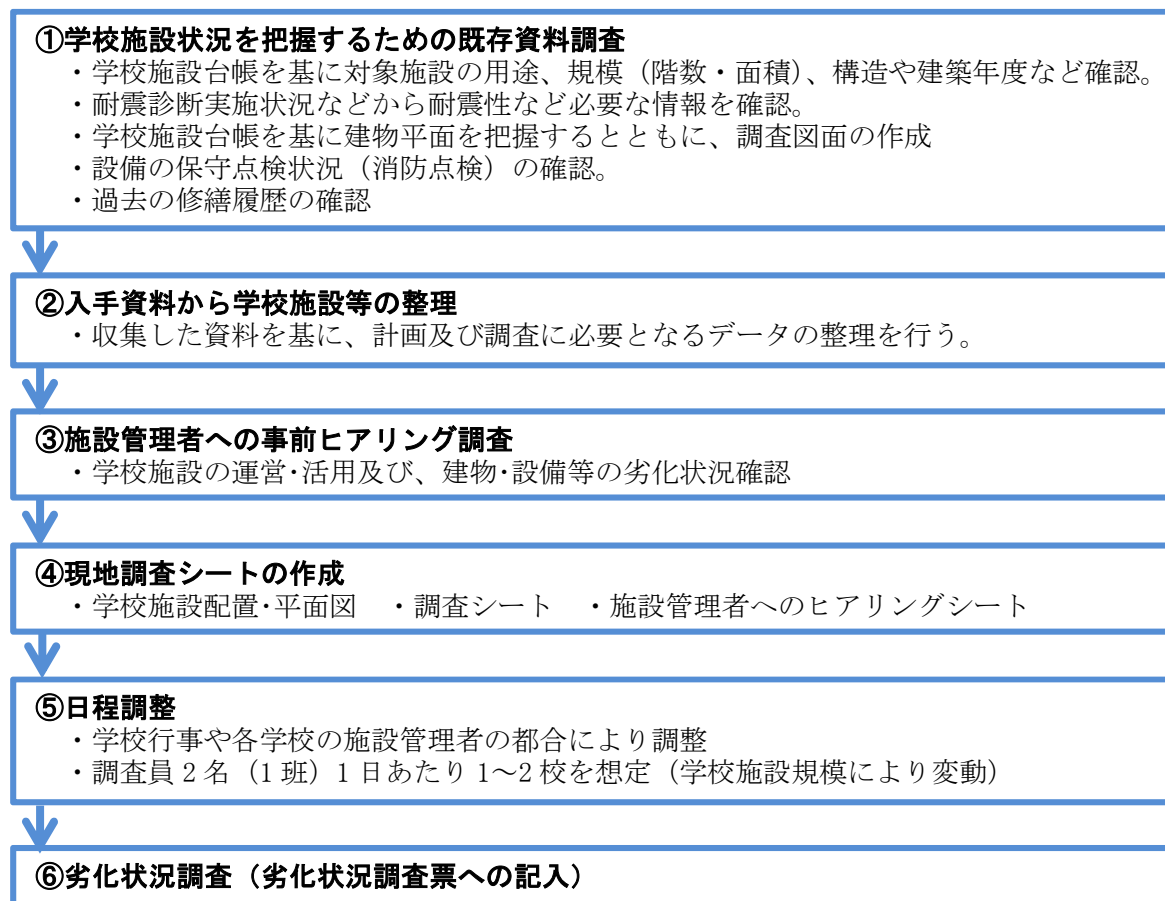
夏休みや、冬休みの長期休暇の際は、午前8時から午後6時（午後7時まで延長あり）まで保育を行います。

②学校施設の老朽化状況の実態

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

(1) 劣化状況調査に向けた準備

長寿命化計画の対象建物（5施設 17棟）については、施設点検調査に着手する前に各施設の既存資料の収集と各施設管理者へのヒアリング調査を行い、事前に施設内容及び状況を整理・把握したうえで劣化状況調査を実施しました。以下に劣化状況調査に向けた作業フローを示します。



(2) 劣化状況評価方法

事前作成資料から施設の劣化が進んでいる部位や問題点、要望等を把握した上で、1級建築士など専門家により現地調査を実施しました。

調査においてはまず、次項に示す施設管理者に対する事前ヒアリング調査（施設の具体的な老朽施設箇所、改善及び要望等）で記入頂いた内容についての確認と具体的な問題箇所や構造躯体以外の劣化箇所、その他設備に関する不良などについて確認を行いました。

それらを踏まえ、屋根・屋上、外壁、内部仕上げは、現地にて目視による確認を行い、電気設備、機械設備は現地での状況確認や消防点検結果資料等を基に内容確認を行った上で、部位の全面的な改修年から経過年数を基本にA～Dの4段階評価を行うこととしました。

(3) 事前ヒアリング調査

劣化状況調査を実施する前に、効率的な調査の実施及び現地調査では確認できない状況等についての情報を確認するため、事前にヒアリングシートに記入頂き整理することとしました。

各施設の管理担当者に対するヒアリング調査の概要と結果を以下に示します。

【調査実施期間】

平成30年11月下旬

【ヒアリング調査項目】

①施設の具体的な老朽施設箇所

：老朽化への対策、具体的な老朽施設箇所

②改善及び要望等

：教室等の室内環境、事故防止対策、防犯対策、校具などの整備、バリアフリー化、エコスクールなど

：期待される諸室や機能の追加、施設、設備など

：多様な学習形態、情報環境、国際理解の推進、総合的な学習

表 事前ヒアリング調査結果

	現状施設の問題		学校生活のための施設・設備改善		新たな教育活動のための施設と改善		記入者
	教室等の室内環境、事故防止対策、防犯対策、校具などの整備、バリアフリー化、エコスクールなど	具体的な老朽施設箇所や状況、老朽化への対策など (日常管理範囲で対応可能なものは除く) ※降雨時に雨漏れしている場所・数、天井・壁にある雨漏れ箇所の数	期待される諸室や機能の追加、施設、設備利用状況など	※電気設備(照明・分電盤・昇降設備など)・機械設備(給排水・消防設備・エアコンなど)の不具合など	多様な学習形態、情報環境、国際理解の推進、総合的な学習 (オプンスペースの活用、メディアセンター、教科ワークなど)		
1 大刀洗小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室が狭い ・校舎階段の校舎側に手すりが無い(北棟・南棟とも) 	<p>質問①：降雨時に雨漏れしている場所がありますか？ <input checked="" type="checkbox"/>雨漏れ箇所有り <input type="checkbox"/>雨漏れ箇所無し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南棟2階廊下の西端は、風雨の場合は常に水たまりができる。 ・南棟1階の校長室から保健室前廊下の天井が、雨漏れか湿気のためはがれている。 ・南棟1階の全教室の床が、床下換気ができていないため、きしみ、ひび割れ、腐食。 ・南棟1階事務室床が、床下換気ができていないため、陥没に近い。 ・南棟1階給湯室床が、床下換気ができていないため、くぼむ。 ・南棟1階校長室の棚が、床下換気ができていないため、かび発生。 ・南棟1階教室の棚が、床下換気ができていないため、かび発生。 ・北棟1階の廊下が、床下換気ができていないため、梅雨時に浮く。 ・北棟1階2階とも、廊下の壁にひび有り。 ・北棟2階廊下の床シートが剥がれている。 ・北棟1階トイレから悪臭発生。 ・運動場の体育倉庫の扉が、腐食。 	<p>質問②：電気設備、機械設備の日常利用において、不具合が発生していませんか？ <input checked="" type="checkbox"/>不具合有り <input type="checkbox"/>不具合無し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館の放送設備(機器・スピーカー全て)が古い。数十年前のもの。 ・校内放送が聞こえにくい場所がある。スピーカーを増設してほしい。 ・家庭科室の排水故障がある。工事待ちとなっている。 ・北棟1階の防火扉の昇降不備。 	<ul style="list-style-type: none"> ・wifi環境を整備していただきたい。 ・北棟の黒板に線が入っていないため、入れていただきたい。 ・北棟の工事の際、トイレを洋式化していただきたい。 ・北棟の工事の際、電灯はLEDにしていただきたい。 	教頭 酒井		
2 菊池小学校		<p>質問①：降雨時に雨漏れしている場所がありますか？ <input checked="" type="checkbox"/>雨漏れ箇所有り <input type="checkbox"/>雨漏れ箇所無し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育倉庫の雨漏り ・体育倉庫の壁の修繕(つぎはぎ状態) ・女子更衣室、2年教室 ・2の1教室が特別支援学級時の扉のままなので、大雨、大風の際、水が入ったり、落ち葉が吹き込む。 	<p>質問②：電気設備、機械設備の日常利用において、不具合が発生していませんか？ <input checked="" type="checkbox"/>不具合有り <input type="checkbox"/>不具合無し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長室の電気が不具合がある。 ・校長室のエアコンから悪臭がするときがある。 ・児童トイレ(南校舎)改築：乾式へ ・給食調理場の建て替え、ドライシステム化 ・蛍光灯のLED化(校長室) ・食堂のエアコン取替(老朽化のため、電力消費量が莫大になっている。) 		教頭 高松		
3 本郷小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨時期における廊下・壁の結露防止 ・事務室の環境整備(狭く・暗い) ・体育館に行くための中央廊下のスロープ設置 	<p>質問①：降雨時に雨漏れしている場所がありますか？ <input type="checkbox"/>雨漏れ箇所有り <input type="checkbox"/>雨漏れ箇所無し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相撲場屋根の傾きの修理 ・西側階段3階天井塗装の剥離修理 ・1年児童便所の悪臭改善、職員便所の悪臭改善と洋式化 	<p>質問②：電気設備、機械設備の日常利用において、不具合が発生していませんか？ <input type="checkbox"/>不具合有り <input type="checkbox"/>不具合無し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変電設備BOXの錆 ・校門周辺フェンス、食堂周りの手摺の腐食 	<ul style="list-style-type: none"> ・Wifi環境の整備 ・4～6年教室黒板の昇降化 ・マスターキーの1本化 	教頭 今津		
4 大堰小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・北校舎の2階高学年トイレの下が通学路のため、地震等で落下した場合、大きな事故になる可能性がある。補強の柱を設置したほうがよい。 ・北校舎の2階高学年トイレの下が通学路のため、地震等で落下した場合、大きな事故になる可能性がある。 ・事務室環境が悪い。(暗い・風の通り・湿っぽい) ・1階中央廊下の身障者用トイレが狭い。 ・男子職員更衣室がない。 ・狭いため、北校舎2階高学年男子トイレに大使用がない。(現在は、近くの身障者用トイレを使用) ・現在マスターキーは長いものと短いもの2本使用している。1本に統一したい。 ・北校舎2階図書室北側窓の下の壁がぼこぼこしている。結露のため？ ・南校舎1・2階教室前廊下や階段(ビニル系)は梅雨、湿度が高い日にすべりやすい。モップで拭く日も多かった。 	<p>質問①：降雨時に雨漏れしている場所がありますか？ <input checked="" type="checkbox"/>雨漏れ箇所有り <input type="checkbox"/>雨漏れ箇所無し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北校舎2階から3階西側(体育館側)階段、踊り場は大雨の時に壁から雨が浸透し、水たまりができる。 ・北校舎図書室横2階東側階段踊り場は大雨の時に壁から雨が浸透し、水たまりができる。 ・大雨時、南校舎窓のサッシから教室に雨が染み出て入る。 ・南校舎一階教室周り運動場側壁面と土台との接合部分に長いひび割れがある。 ・体育館天井のカバーが破れ、落ちかけている箇所が何ヶ所もある。 	<p>質問②：電気設備、機械設備の日常利用において、不具合が発生していませんか？ <input checked="" type="checkbox"/>不具合有り <input type="checkbox"/>不具合無し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内放送が聞こえにくい箇所がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現少人数教室にも実物投影機が使えるスクリーンがほしい。 ・Wifi環境を整備してほしい。 	教頭 立野		
5 大刀洗中学校		<p>質問①：降雨時に雨漏れしている場所がありますか？ <input checked="" type="checkbox"/>雨漏れ箇所有り <input type="checkbox"/>雨漏れ箇所無し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館の天井 	<p>質問②：電気設備、機械設備の日常利用において、不具合が発生していませんか？ <input checked="" type="checkbox"/>不具合有り <input type="checkbox"/>不具合無し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理等の漏電とみられる停電の恐れあり 		主任主事 田之上		

(4) 劣化状況調査

各施設の劣化状況調査の概要を以下に示します。

点検する建物の部位は、建築基準法第12条による定期検査の内容を参考に、次頁に示す「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上げ」「電気設備」「機械設備」の各部位ごとに劣化状況を評価します。



調査風景

【調査実施期間】

平成30年12月4日～平成30年12月10日

※調査時間 …… 9時～12時及び13時～17時

(昼休み、給食等の時間調整あり)

【調査方法】

- ・目視による劣化箇所の確認、写真撮影、平面図への記録
- ・クラックスケールによるクラックの大きさ確認
- ・可能な範囲でのテストハンマーによる打診

表 劣化状況調査実施日程

No.	学校名	学校所在地	建物区分	建物名	現地調査スケジュール								
					平成30年12月								
					3日 (月)	4日 (火)	5日 (水)	6日 (木)	7日 (金)	8日 (土)	9日 (日)	10日 (月)	
1	大刀洗小学校	大字上高橋755-1	校舎1	南校舎4	午前 9:00 ～ 午後 17:00								
				南校舎6									
			校舎2	南校舎8									
				北校舎									
校舎3	職員便所												
	給食室												
屋内体育館	屋内運動場												
	体育倉庫												
2	菊池小学校	大字山隈1344-3	校舎1	教室棟	午前 9:00 ～ 午後 17:00								
				渡り廊下									
				便所									
			校舎2	昇降口									
教室棟													
校舎3	教室棟												
	給食室												
屋内体育館	食堂												
	屋内運動場												
倉庫	倉庫												
	倉庫												
3	本郷小学校	大字本郷4669-1	校舎1	校舎	午前 9:00 ～ 12:00								
				食堂									
屋内体育館	給食室												
	屋内運動場												
倉庫	倉庫												
	倉庫												
4	大堰小学校	大字守部465	校舎1	北棟校舎	午後 14:00 ～ 午後 17:00								
				昇降口									
			校舎2	南棟校舎									
特別教室棟・給食室													
屋内体育館	屋内運動場												
5	大刀洗中学校	大字本郷515	校舎1	北校舎								午前 9:00 ～ 午後 17:00	
				給食室									
			校舎2	南校舎									
				屋内運動場									
屋内体育館	倉庫												
	屋内運動場												

表 劣化状況評価対象部位

点検周期	点検部位	点検項目		
3年以内 ごと	建築物(敷 地・構造)	敷地及び 地盤	地盤 敷地 塀 擁壁 等	
		建築物の 外部	基礎 土台(木造に限る。)	
			外壁(躯体等、外装仕上げ材等、窓サッシ等、広告板等)	→ 2 外壁
		屋上及び 屋根	屋上面 屋上周り 屋根 機器及び工作物	→ 1 屋根・屋上
		建築物の 内部	防火区画 壁の室内に面する部分(躯体等、防火区画を構成する壁) 床(躯体等、防火区画を構成する床) 天井 照明器具・懸垂物等 石綿等を添加した建築材料	→ 3 内部仕上げ
		避難施設 等	避難上有効なバルコニー 階段 排煙設備等 非常用の照明装置	
	その他	特殊な構造(膜構造建築物の膜体・取付け部材等、免震構造建築物の免震層・免震装置) 避雷設備 煙突		
1年以内 ごと	建築設備 (昇降機を 除く)	昇降機	エレベーター エスカレーター 小荷物専用昇降機	→ 4 電気設備
		防火設備	防火戸 防火シャッター等駆動装置との連動	→ 2 外壁 → 3 内部仕上げ
			換気設備	(居室等の)機械換気設備 (調理室等の)自然換気設備及び機械換気設備 (居室等の)防火ダンパー 等
		排煙設備	排煙機 その他(機械排煙設備の排煙口・排煙風道、防火ダンパー、特殊な構造の排煙設備の排煙口及び給気口・給気風道・給気送風機) 特殊避難階段の付室及び非常用エレベーターの乗降ロビーに設ける排煙口及び給気口 可動防煙壁 自家用発電装置 エンジン直結の排煙機	
		非常用の 照明装置	電池内蔵形の蓄電池 電源別置形の蓄電池 自家用発電装置	→ 4 電気設備
		給水設備 及び排水 設備	飲料用の配管及び排水配管 飲料用の給水タンク及び貯水タンク並びに給水ポンプ 排水槽 給湯設備 排水再利用配管設備 その他(衛生器具、排水管)	→ 5 機械設備

※文部科学省：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書より

表 使用した劣化状況評価調査票

通し番号			
学校名	学校番号	調査日	
建物名	記入者		
棟番号	建築年度	年度(年度)	
構造種別	延床面積	m ²	階数
		地上	階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレを目視点検できない			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
0 / 100点

【劣化状況判定基準】

現地調査において作成した劣化状況調査票を用いて構造躯体以外の劣化状況を把握し、屋根・屋上、外壁及び、内部仕上げ(床・内壁・梁)を目視状況により評価します。

内部仕上げ(建具・間仕切等・照明器具・エアコン)、電気設備、機械設備は、事前ヒアリング調査結果、消防点検結果や現地調査時に管理者への聞き取りを行った劣化確認状況を加味したうえで、部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階評価を行うものとします。

■評価基準

【屋根・屋上、外壁】※目視、打診等による評価

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化 D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上に問題があり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

【内部仕上げ、電気設備、機械設備】※目視(可能な範囲)経過年数による評価

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数にかかわらず著しい劣化事象がある場合

■健全度

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。

健全度は数値が低いほど、劣化が進んでいることを示しています。

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60 = \text{健全度}$$

表：部位の評価点

A	B	C	D
100	75	40	10

※文部科学省提供ソフトより

表：部位のコスト配分

屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	合計
5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60.0

※文部科学省提供ソフトより

(5) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価結果

①建物情報（評価結果）一覧表

老朽化状況は、長寿命化計画の対象建物に対し、①躯体の健全性調査と②躯体以外の劣化状況調査の2つに分けて把握・評価します。

躯体の健全性は、耐震診断時の既存データから診断を行い、建物ごとの残存耐用年数や耐震診断結果を把握し、具体的な長寿命化計画につなげます。

躯体以外の劣化状況は、現地調査により把握し、劣化度の算定・評価を実施し、劣化優先

順

位づけや、保全方針、基準の見直し、中長期保全計画につなげます。

表 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価結果（一覧表）

通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物基本情報						構造躯体の健全性					劣化状況評価							
			建物名	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	耐震安全性			コンクリート圧縮強度		屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点満点)	
							西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)							試算上の 区分
1	2491	大刀洗小学校	校舎1	RC	2	1,793	1963	S38	55	旧	済	済	H21	8.0	要調査	A	B	B	A	A	84
2	2491	大刀洗小学校	校舎2	RC	2	1,849	1989	H元	29	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	C	B	B	52
3	2491	大刀洗小学校	校舎3	RC	1	566	1986	S61	32	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67
4	2491	大刀洗小学校	屋内運動場	RC	1	624	1973	S48	45	旧	済	-	H16	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
5	2492	菊池小学校	校舎1	RC	2	2,049	1987	S62	31	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
6	2492	菊池小学校	校舎2	RC	2	1,819	1970	S45	48	旧	済	済	H21	14.3	長寿命	A	B	A	A	A	93
7	2492	菊池小学校	校舎3	RC	1	655	1983	S58	35	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84
8	2492	菊池小学校	屋内運動場	RC	1	622	1975	S50	43	旧	済	-	H15	17.7	長寿命	A	B	B	B	B	77
9	2493	本郷小学校	校舎1	RC	3	4,025	1981	S56	37	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84
10	2493	本郷小学校	屋内運動場	RC	1	803	1977	S52	41	旧	済	-	H15	-	長寿命	A	B	C	C	C	55
11	2494	大堰小学校	校舎1	RC	2	1,652	1963	S38	55	旧	済	済	H20	10.7	要調査	B	B	A	A	A	91
12	2494	大堰小学校	校舎2	RC	2	685	1970	S45	48	旧	済	済	H20	14.8	長寿命	A	B	A	A	A	93
13	2494	大堰小学校	校舎3	RC	2	905	1986	S61	32	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84
14	2494	大堰小学校	屋内運動場	RC	1	782	1977	S52	41	旧	済	-	H15	17.7	長寿命	A	B	C	C	C	55
15	4705	大刀洗中学校	校舎1	RC	3	4,640	2007	H19	11	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93
16	4705	大刀洗中学校	校舎2	RC	2	2,753	1988	S63	30	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	C	B	B	54
17	4705	大刀洗中学校	屋内運動場	RC	1	941	1967	S42	51	旧	済	-	H17	17.7	長寿命	A	A	A	A	A	100

■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上50年未満

■ : 概ね良好 ■ : 広範囲に劣化
 ■ : 部分的に劣化 ■ : 早急に対応する必要がある

②構造躯体の健全性の評価

構造躯体の健全性の把握にあたっては、長寿命化計画の対象建物（17棟）のうち、建築年に基づく耐震基準の適用が建築基準法改正（昭和56年）以前に建築された建物（9棟）について、耐震診断報告書を基に長寿命化改修での適否について検討するものです。

なお、旧耐震基準の建物で、コンクリートの圧縮強度が13.5N/mm²以下の建物は、大刀洗小学校（校舎1：南校舎）、大堰小学校（校舎1：主に北校舎）です。

その他の建物は、圧縮強度、is値とも問題ないことから、長寿命化による更新が可能です。

大刀洗小学校（校舎1：南校舎）、大堰小学校（校舎1：主に北校舎）は、健全度がさほど低くないことから、更新手法を判断する上では、詳細な調査が必要です。

表 構造躯体の健全性の評価結果

建物基本情報								構造躯体の健全性						
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	構造	階数	延床面積(m ²)	築年数	耐震安全性			コンクリート圧縮強度			
								基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	is値	試算上の区分
1	2491	大刀洗小学校	校舎1	RC	2	1,793	55	旧	済	済	H21	8.0	0.83	要調査
4	2491	大刀洗小学校	屋内運動場	RC	1	624	45	旧	済	-	H16	-	1.19	長寿命
6	2492	菊池小学校	校舎2	RC	2	1,819	48	旧	済	済	H21	14.3	0.72	長寿命
8	2492	菊池小学校	屋内運動場	RC	1	622	43	旧	済	-	H15	17.7	0.82	長寿命
10	2493	本郷小学校	屋内運動場	RC	1	803	41	旧	済	-	H15	-	0.92	長寿命
11	2494	大堰小学校	校舎1	RC	2	1,652	55	旧	済	済	H20	10.7	0.77	要調査
12	2494	大堰小学校	校舎2	RC	2	685	48	旧	済	済	H20	14.8	0.74	長寿命
14	2494	大堰小学校	屋内運動場	RC	1	782	41	旧	済	-	H15	17.7	0.94	長寿命
17	4705	大刀洗中学校	屋内運動場	RC	1	941	51	旧	済	-	H17	17.7	1.76	長寿命

■ : 築50年以上

□ : 築30年以上50年未満

1) is 値

is 値とは構造耐震指標のことをいい、地震力に対する建物の強度、靱性（じんせい：変形能力、粘り強さ）を考慮し、建築物の階ごとに算出することとなっている。

「建築物の耐震改修の促進に関する法律（耐震改修促進法）」の告示（平成18年度国土交通省告示 第184号と185号）により、震度6～7程度の規模の地震に対するis値の評価については以下の様に定められている。

is値が0.6以上	倒壊、又は崩壊する危険性が低い
is値が0.3以上 0.6未満	倒壊、又は崩壊する危険性がある
is値が0.3未満	倒壊、又は崩壊する危険性が高い

2) 圧縮強度

コンクリート圧縮強度が13.5N/mm²以下のものは、試算上「改築」とする。

※文部科学省：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書より

③構造躯体以外の劣化状況等の評価（屋上・屋根、外壁別にみた劣化状況）

対象建物（17棟）のうち、劣化状況の健全度が60点を下回る建物は4棟であり、総延床面積27,163㎡のうちの6,187㎡（22.8%）となっています。

80点を下回る建物は、7棟あり、総延床面積のうちの7,999㎡（29.5%）となっています。

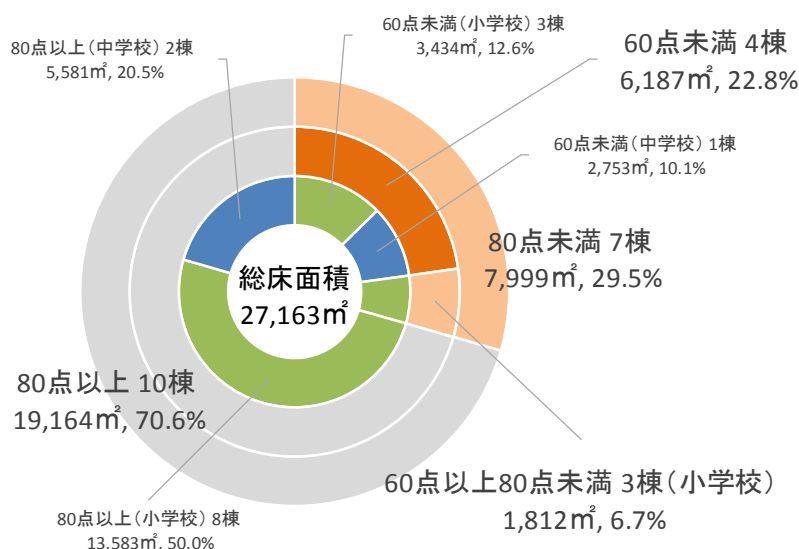


図 健全度点数区別床面積構成

表 構造躯体以外の劣化状況等の評価結果（健全度順）

建物基本情報								劣化状況評価					
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	構造	階数	延床面積(㎡)	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
2	2491	大刀洗小学校	校舎2	RC	2	1,849	29	B	C	C	B	B	52
16	4705	大刀洗中学校	校舎2	RC	2	2,753	30	A	C	C	B	B	54
10	2493	本郷小学校	屋内運動場	RC	1	803	41	A	B	C	C	C	55
14	2494	大堰小学校	屋内運動場	RC	1	782	41	A	B	C	C	C	55
3	2491	大刀洗小学校	校舎3	RC	1	566	32	A	C	B	B	B	67
4	2491	大刀洗小学校	屋内運動場	RC	1	624	45	B	B	B	B	B	75
8	2492	菊池小学校	屋内運動場	RC	1	622	43	A	B	B	B	B	77
1	2491	大刀洗小学校	校舎1	RC	2	1,793	55	A	B	B	A	A	84
7	2492	菊池小学校	校舎3	RC	1	655	35	A	A	B	B	B	84
9	2493	本郷小学校	校舎1	RC	3	4,025	37	A	A	B	B	B	84
13	2494	大堰小学校	校舎3	RC	2	905	32	A	A	B	B	B	84
11	2494	大堰小学校	校舎1	RC	2	1,652	55	B	B	A	A	A	91
6	2492	菊池小学校	校舎2	RC	2	1,819	48	A	B	A	A	A	93
12	2494	大堰小学校	校舎2	RC	2	685	48	A	B	A	A	A	93
15	4705	大刀洗中学校	校舎1	RC	3	4,640	11	A	B	A	A	A	93
5	2492	菊池小学校	校舎1	RC	2	2,049	31	A	A	A	A	A	100
17	4705	大刀洗中学校	屋内運動場	RC	1	941	51	A	A	A	A	A	100

■ : 築50年以上

■ : 築30年以上50年未満

■ : 概ね良好

■ : 広範囲に劣化

■ : 部分的に劣化

■ : 早急に対応する必要がある

対象建物（17棟）のうち、築年が50年を超える建物は3棟、その他30年を超える建物は12棟ですが、近年大規模改修を実施した建物は、健全度が高くなっています。

30年を超える建物のうち、本郷小学校（屋内運動場）、大堰小学校（屋内運動場）など、経年劣化により健全度が低くなっている建物が見られます。

また、築年が30年未満の建物中でも、大刀洗小学校（校舎2：主に北校舎）は、劣化が進行し、健全度が低くなっており、築年が30年を超える建物より低い健全度となっています。

表 構造躯体以外の劣化状況等の評価結果（築年順）

建物基本情報								劣化状況評価					
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	構造	階数	延床面積(m ²)	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
1	2491	大刀洗小学校	校舎1	RC	2	1,793	55	A	B	B	A	A	84
11	2494	大堰小学校	校舎1	RC	2	1,652	55	B	B	A	A	A	91
17	4705	大刀洗中学校	屋内運動場	RC	1	941	51	A	A	A	A	A	100
6	2492	菊池小学校	校舎2	RC	2	1,819	48	A	B	A	A	A	93
12	2494	大堰小学校	校舎2	RC	2	685	48	A	B	A	A	A	93
4	2491	大刀洗小学校	屋内運動場	RC	1	624	45	B	B	B	B	B	75
8	2492	菊池小学校	屋内運動場	RC	1	622	43	A	B	B	B	B	77
10	2493	本郷小学校	屋内運動場	RC	1	803	41	A	B	C	C	C	55
14	2494	大堰小学校	屋内運動場	RC	1	782	41	A	B	C	C	C	55
9	2493	本郷小学校	校舎1	RC	3	4,025	37	A	A	B	B	B	84
7	2492	菊池小学校	校舎3	RC	1	655	35	A	A	B	B	B	84
3	2491	大刀洗小学校	校舎3	RC	1	566	32	A	C	B	B	B	67
13	2494	大堰小学校	校舎3	RC	2	905	32	A	A	B	B	B	84
5	2492	菊池小学校	校舎1	RC	2	2,049	31	A	A	A	A	A	100
16	4705	大刀洗中学校	校舎2	RC	2	2,753	30	A	C	C	B	B	54
2	2491	大刀洗小学校	校舎2	RC	2	1,849	29	B	C	C	B	B	52
15	4705	大刀洗中学校	校舎1	RC	3	4,640	11	A	B	A	A	A	93

■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上50年未満

■ : 概ね良好 ■ : 広範囲に劣化
 ■ : 部分的に劣化 ■ : 早急に対応する必要がある

調査対象建物の構造躯体以外の劣化状況等の評価を基に、屋上・屋根の劣化状況評価と外壁の劣化状況評価を経過年数別にグラフに示します。

■屋上・屋根の劣化状況

- ・屋上・屋根に「C」「D」評価が見られる建物はありません。
- ・「B」評価は、経過年数 30 年未満の建物に最も多く占めています。

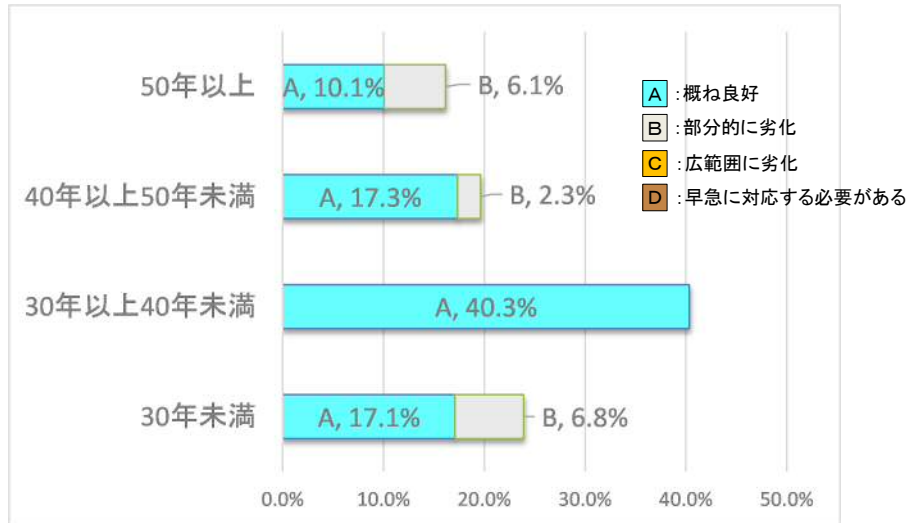


図 屋上・屋根の経過年数区別劣化状況

※割合は、総延床面積に対する割合。

■外壁の劣化状況

- ・経過年数 40 年を超える建物に「C」「D」評価が見られる建物はありません。
- ・「C」評価は、経過年数 30 年以上 40 年未満に最も多く占めています。
- ・経過年数 30 年未満の建物では、「A」評価が見られる建物はありません。

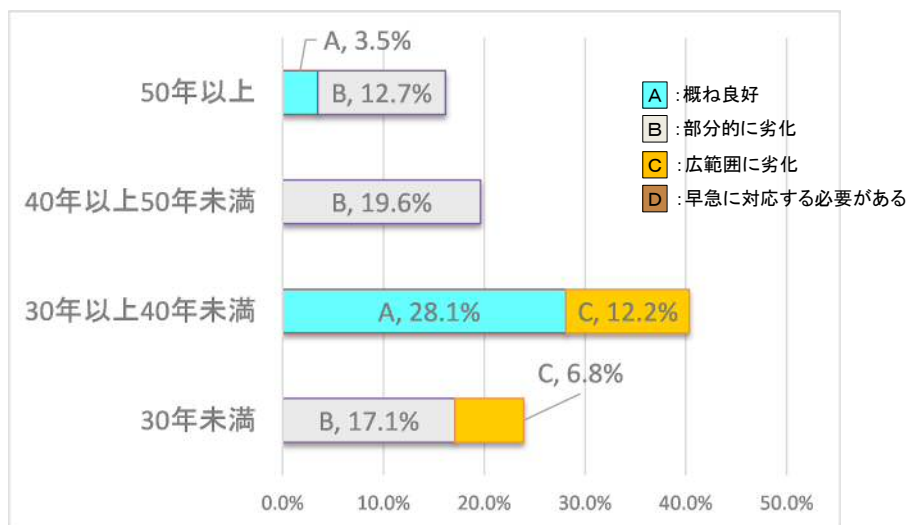


図 外壁の経過年数区別劣化状況

※割合は、総延床面積に対する割合。

④部別劣化状況

建物の劣化において重要な屋上・屋根及び外壁について、経過年数別の劣化状況を学校の校舎と屋内運動場に区分して示します。

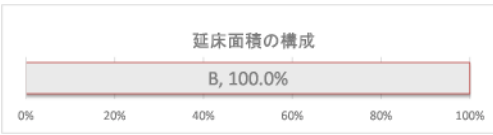






- A :概ね良好
- B :部分的に劣化
- C :広範囲に劣化
- D :早急に対応する必要がある

表 校舎（給食調理棟含む）の屋上・屋根部の劣化状況

経過年数	劣化評価の分布	劣化の状況						
50年以上	<p>「A」評価：大刀洗小学校（校舎1：南校舎） 「B」評価：大堰小学校（校舎1：主に北校舎）</p> <p style="text-align: center;">延床面積の構成</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>評価</td> <td>割合</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>52.0%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>48.0%</td> </tr> </table>	評価	割合	A	52.0%	B	48.0%	<p>「A」評価の大刀洗小学校（校舎1）は、防水層、笠木、排水口など健全です。 「B」評価の大堰小学校（校舎1）は、1階渡り廊下の屋上にシート防水溶接離れ及びドレインの詰まりが見られますが、大きな問題はありません。</p>
評価	割合							
A	52.0%							
B	48.0%							
40年以上 50年未満	<p>「A」評価：菊池小学校（校舎2：主に南校舎） 大堰小学校（校舎2：南校舎西）</p> <p style="text-align: center;">延床面積の構成</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>評価</td> <td>割合</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	評価	割合	A	100.0%	<p>「A」評価の菊池小学校（校舎2）は、防水層の汚れやドレイン詰まりが見られますが、大きな問題はありません。 大堰小学校（校舎2）は、防水層、笠木、排水口など健全です。</p>		
評価	割合							
A	100.0%							
30年以上 40年未満	<p>「A」評価：大刀洗小学校（校舎3：給食室） 菊池小学校（校舎1：主に北校舎） 菊池小学校（校舎3：食堂・給食室） 本郷小学校（校舎1：校舎・食堂・給食室） 大堰小学校（校舎3：特別教室棟・給食室） 大刀洗中学校（校舎2：南校舎）</p> <p style="text-align: center;">延床面積の構成</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>評価</td> <td>割合</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	評価	割合	A	100.0%	<p>菊池小学校（校舎1）、本郷小学校（校舎1）、大刀洗中学校（校舎2）は、防水層表面の汚れやドレイン詰まりが見られますが、大きな問題はありません。 大刀洗小学校（校舎3）、菊池小学校（校舎3）、大堰小学校（校舎3）は、防水層、笠木、排水口など健全です。</p>		
評価	割合							
A	100.0%							
30年未満	<p>「A」評価：大刀洗中学校（校舎1：北校舎・給食室） 「B」評価：大刀洗小学校（校舎2：主に北校舎）</p> <p style="text-align: center;">延床面積の構成</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>評価</td> <td>割合</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>71.5%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>28.5%</td> </tr> </table>	評価	割合	A	71.5%	B	28.5%	<p>「A」評価の大刀洗中学校（校舎1）は、給食調理室の屋上全体に汚れている程度で大きな問題はありません。 「B」評価の大刀洗小学校（校舎2）は、保護モルタル割れや目地ゴムの剥がれ、金属巾木の錆などが見られますが、大きな問題はありません。</p>
評価	割合							
A	71.5%							
B	28.5%							



- A :概ね良好
- B :部分的に劣化
- C :広範囲に劣化
- D :早急に対応する必要がある

表 校舎（給食調理棟含む）の外壁の劣化状況

経過年数	劣化評価の分布	劣化の状況
50年以上	<p>「B」評価：大刀洗小学校（校舎1：南校舎） 大堰小学校（校舎1：主に北校舎）</p> <div style="text-align: center;">  <p>延床面積の構成 B, 100.0%</p> </div>	<p>大刀洗小学校（校舎1）は、外壁にへアークラックや塗装の膨れが見られるほか、庇鼻にクラックが見られますが、大きな問題はありません。</p> <p>大堰小学校（校舎1）は、1階外壁、2階外壁やベランダ立上りにへアークラック、東側塔屋出入口の庇鼻にクラックが見られますが、大きな問題はありません。</p>
40年以上 50年未満	<p>「B」評価：菊池小学校（校舎2：主に南校舎） 大堰小学校（校舎2：南校舎）</p> <div style="text-align: center;">  <p>延床面積の構成 B, 100.0%</p> </div>	<p>菊池小学校（校舎2）は、窓水切面台のへアークラックや塔屋外壁塗装の膨れなどが見られますが、大きな問題はありません。</p> <p>大堰小学校（校舎2）は、1階、2階の外壁、塔屋外壁にへアークラック塗装膨れなどが見られますが、大きな問題はありません。</p>
30年以上 40年未満	<p>「A」評価：菊池小学校（校舎1：主に北校舎） 菊池小学校（校舎3：食堂・給食室） 本郷小学校（校舎1：校舎・食堂・給食室） 大堰小学校（校舎3：特別教室棟・給食室）</p> <p>「C」評価：大刀洗小学校（校舎3：給食室） 大刀洗中学校（校舎2：南校舎）</p> <div style="text-align: center;">  <p>延床面積の構成 A, 69.7% C, 30.3%</p> </div>	<p>「A」評価の菊池小学校（校舎1）は、渡り廊下屋根の水平プレスに錆付き、菊池小学校（校舎3）は、軒先鼻にへアークラックなど、本郷小学校（校舎1）は、外階段スラブ下の塗装の剥がれが見られますが、大きな問題はありません。大堰小学校（校舎3）の外壁は、健全です。</p> <p>「C」評価の大刀洗小学校（校舎3）は、外壁全体的に汚れや亀甲ひび割れがあり、庇鼻のへアークラックやサッシ水切りコーキングの劣化が多数見られ、是正が必要です。</p> <p>大刀洗中学校（校舎2）は、ベランダ軒裏の塗装の剥がれやクラックがあり、その他へアークラックも多数見られるなど是正が必要です。</p> <p style="text-align: center;">【「C評価」劣化箇所の例】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外壁全体の亀甲ひび割れ 大刀洗小学校（校舎3）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>軒下鼻のクラック 大刀洗中学校（校舎2）</p> </div> </div>
30年未満	<p>「B」評価：大刀洗中学校（校舎1：北校舎及び給食室）</p> <p>「C」評価：大刀洗小学校（校舎2：主に北校舎）</p> <div style="text-align: center;">  <p>延床面積の構成 B, 71.5% C, 28.5%</p> </div>	<p>「B」評価の大刀洗中学校（校舎1）は、外壁塗装の剥がれやへアークラックが見られますが、大きな問題はありません。</p> <p>「C」評価の大刀洗小学校（校舎2）は、外壁の汚れが全体的に見られ、外壁モルタル剥がれやEXPのコーキング亀裂、サッシ水切りコーキング劣化など劣化が多数見られ、是正が必要です。</p> <p style="text-align: center;">【「C評価」劣化箇所の例】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外壁全体の汚れ 大刀洗小学校（校舎2）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>サッシコーキングの劣化 大刀洗小学校（校舎2）</p> </div> </div>

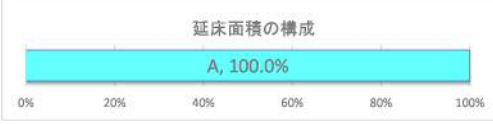

- A :概ね良好
- B :部分的に劣化
- C :広範囲に劣化
- D :早急に対応する必要がある

表 屋内運動場の屋上・屋根の劣化状況

経過 年数	劣化評価の分布	劣化の状況
50 年以上	「A」評価：大刀洗中学校（屋内運動場） 	「A」評価の大刀洗中学校は、葺き材、笠木、排水口など健全です。
40 年以上 50 年未満	「A」評価：菊池小学校（屋内運動場） 本郷小学校（屋内運動場） 大堰小学校（屋内運動場） 「B」評価：大刀洗小学校（屋内運動場） 	「A」評価の菊池小学校、本郷小学校、大堰小学校は、葺き材、笠木、排水口など健全です。 「B」評価の大刀洗小学校は、外部倉庫の母屋鉄骨に錆付きが見られますが、大きな問題はありません。
30 年以上 40 年未満	※該当無し	—
30 年未満	※該当無し	—

- A :概ね良好
- B :部分的に劣化
- C :広範囲に劣化
- D :早急に対応する必要がある

表 屋内運動場の外壁の劣化状況

経過 年数	劣化評価の分布	劣化の状況
50 年以上	「A」評価：大刀洗中学校（屋内運動場） 	「A」評価の大刀洗小学校（校舎 1）は、床下換気口の錆付きや渡り廊下鉄骨柱、梁、水平プレスに錆付きが見られますが、大きな問題はありません。
40 年以上 50 年未満	「B」評価：大刀洗小学校（屋内運動場） 菊池小学校（屋内運動場） 本郷小学校（屋内運動場） 大堰小学校（屋内運動場） 	大刀洗小学校は、玄関庇裏にスラブ鉄筋コンクリートの露出や玄関庇鼻の塗装の膨れなどが見られますが、大きな問題はありません。 菊池小学校は、出入口庇の塗装の膨れや軒裏スラブに雨漏れ跡、倉庫面戸破損による浸水などが見られますが、大きな問題はありません。 本郷小学校は、外壁にヘアークラックや軒先鼻の塗装膨れ、玄関庇鼻亀甲割れなどが見られますが、大きな問題はありません。 大堰小学校は、玄関側軒先鼻にヘアークラック、外部柱型に塗装の浮きなどが見られますが、大きな問題はありません。
30 年以上 40 年未満	※該当無し	—
30 年未満	※該当無し	—

2) 今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）

本計画における長寿命化計画の対象建物（17棟）の維持・更新コストについて、文部科学省提供の試算ソフトにより、長寿命化を前提として試算した場合、今後40年間の維持・更新コストは、総額で106億円と試算され、1年あたり約3億円の維持・更新コストが必要になると試算されます。

長寿命化を前提として試算した場合、前述の改築をメインとした場合（従来型）に比べ、今後40年間の維持・更新コストは、総額で約20億円の低減が可能となり、1年あたり約0.3億円のコスト低減につながります。

また、経過年数により突出してコストがかかる年の費用が低減され、年ごとの維持・更新コストの平準化にも寄与します。

しかし、長寿命化を前提として試算した場合においても、過去5年間の年平均施設関連経費に比べ約1.7倍の費用が必要となり、特に直近の10年間では、2倍以上の年間平均3.5億円が必要になると試算されています。

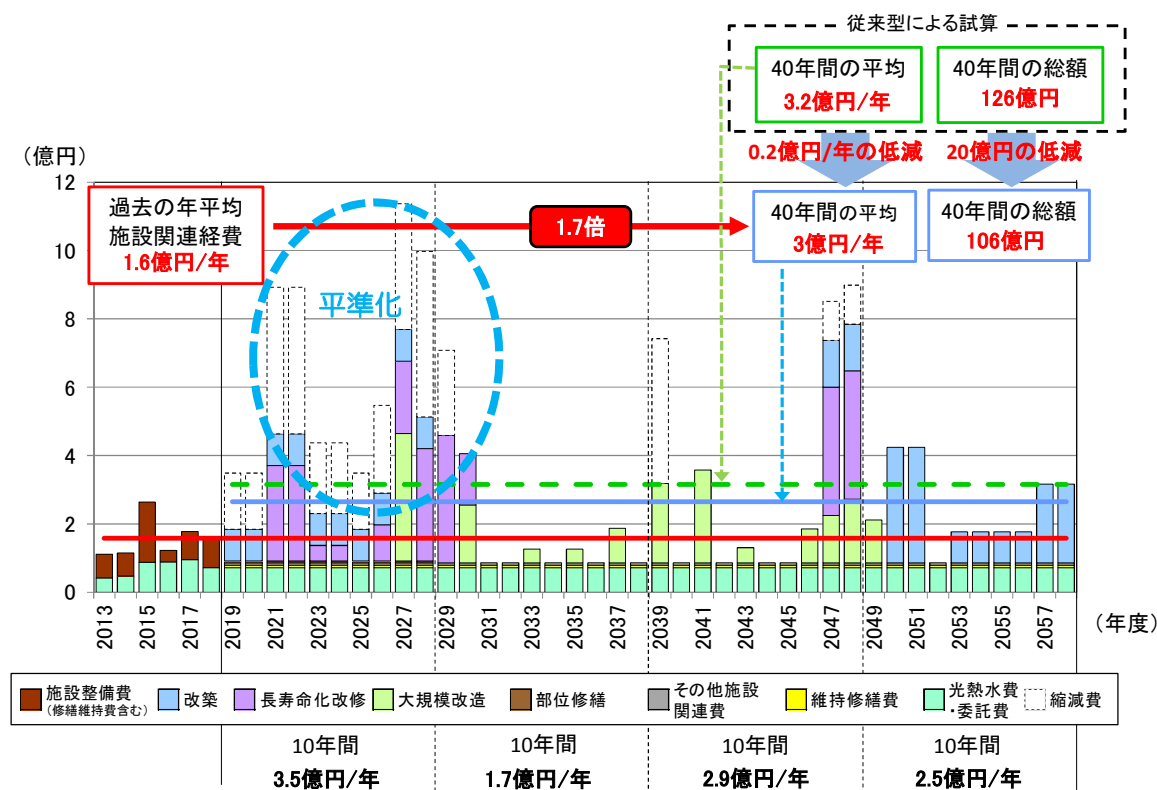


図 長寿命化計画対象建物の今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

※文部科学省提供ソフトによる作図。

コスト試算条件(長寿命化型)

基準年度 2018

試算期間: 基準年の翌年度から40年間

改築

※1 試算上の区分(改築、長寿命)ごとに更新周期を設定する。
試算上の区分が未記入の場合は「改築」と同条件で算出する。

更新周期 <改築、要調査> 50 年 <長寿命> ※1 80 年 工事期間 2 年
実施年数より古い建物の改築を 10 年以内に実施

長寿命化改修

改修周期 <長寿命> 40 年 工事期間 2 年
実施年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施

大規模改造

改修周期 20 年周期
(ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない)

部位修繕

D評価: 今後 5 年以内に部位修繕を実施

C評価: 今後 10 年以内に部位修繕を実施

(ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く)

A評価: 今後 10 年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

①学校施設の規模・配置計画等の方針

1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

総合管理計画における施設整備の方針と整合しつつ、学校施設の実態や目指すべき姿等を踏まえ、今後の学校施設の規模や配置計画に関する方針について定めます。

<p>公共施設等総合管理計画の基本方針</p>	<p>1. 公共施設の保有総量の圧縮、集約化、複合化</p> <p>公共施設の更新にあたっては、総合的な判断のもと、施設更新の優先順位付けを行った上で、規模を縮小することを基本として規模の適正化を図ります。</p> <p>その際、同一または類似の機能を有する施設については集約化の検討を、機能の異なる施設については複合化の検討を進めます。</p> <p>2. 公共施設の長期利活用のための安全性の確保と長寿命化</p> <p>事後保全ではなく、予防保全の考え方にに基づき、適正な修繕を行うとともに、優先順位を検討しつつ施設の長寿命化によるトータルコストの縮減、平準化を推進します。</p> <p>3. 公共施設の管理運営費用の見直しと民活化</p> <p>省エネルギー設備の導入等により、ライフサイクルコストの軽減を図ることに加え、施設の稼働率向上に取り組み、適正な利用料を設定するなど受益者負担の見直しも検討します。</p> <p>また、民間事業者を活用することによる効果と課題や必要性等を総合的に検証した上で民間活力導入の検討を進めます。</p> <p>4. ユニバーサルデザイン化の推進</p> <p>改修や更新等を行う際には、誰もが利用しやすいようユニバーサルデザインの対応に努めます。</p>
<p>公共施設等総合管理計画の施設類型別方針</p> <p>【学校】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄筋コンクリート造の建物は、更新・改修費用平準化のため80年型の長寿命化を図り、更新の際は規模の適正化を検討します。 ●小学校の屋内運動場は、更新の際、小学校区施設に分類される社会系施設との複合化を検討し、複合化の際は規模の適正化を検討します。 ●倉庫等の附帯施設は、主体施設の更新時に主体施設への統合を検討します。



学校施設の長寿命化計画の基本方針

公共施設等総合管理計画の基本方針・施設類型別方針



総合管理計画における基本方針や施設類型別方針に即し、学校施設の長寿命化や維持・管理に関する基本方針を以下に定めます。

<p>学校施設の長寿命化計画の基本方針</p>	<p>1. 児童・生徒の安全・安心を守る計画的保全と長寿命化の推進</p> <p>児童・生徒が生活する場でもあることから、定期的な日常点検、必要に応じて劣化診断などを実施し、施設の状態や劣化状況の把握、危険・不具合箇所の早期発見に努めながら、劣化や危険性が認められた箇所については、すみやかに修繕又は安全対策を実施します。</p> <p>施設の更新については、建替えから長寿命化改修による建物の長寿命化に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。</p> <p>また、適切な維持管理による財政負担の平準化及び計画的に予防保全的な部分修繕・改修を行うことにより、ライフサイクルコストの削減を図ります。</p> <p>2. 町民ニーズに対応した施設の有効活用</p> <p>現在の学校施設の活用を増進し、学校の多目的利用・複合化により町民に身近で便利な地域のコミュニティ、スポーツ、防災拠点化を推進します。</p> <p>また、更新にあわせ、利用者の利便性と安全性の向上のため、バリアフリー化を推進します。</p> <p>3. まちづくりと連動したマネジメントの推進</p> <p>学校施設の整備に際しては、PPP等、民間を活用し、財政負担の軽減とまちの賑わいづくりを推進します。</p> <p>また、施設を維持・保全していくため、県及び民間事業者との連携・協働を推進します。</p> <p>4. 施設保有量の最適化</p> <p>今後、児童数、生徒数の増減や分布に注視し、将来的には、必要に応じて適正規模・適正配置について検討します。</p> <p>その際、地域の公民館といった社会教育施設、スポーツ施設等の地域の実状に応じた機能の再編についても検討します。</p>
-------------------------	---

2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

本町は、結婚から子育てまで、切れ目ない施策を積極的に展開することによる合計特殊出生率の向上や定住・移住施策に積極的に取り組むことによる、転出抑制・転入促進を行うこととしており、児童・生徒数の将来推計結果を踏まえると、現時点では、学校施設の縮小は必要ないと考えられます。

本計画において、町内の学校施設は、原則として現在の規模・配置を維持します。

ただし、小学校間の児童数のアンバランス化の改善や児童数、生徒数に対する規模の適正化は、今後、必要になると考えられます。

今後、児童数、生徒数の増減や分布に注視し、必要に応じ、学校施設の利用用途見直しや民間・地元との連携による管理床面積の縮小を検討します。

将来的に児童数、生徒数の確保が見込めない施設が生じた場合、施設の統廃合や廃止について検討します。

将来的に標準規模に達していない学校施設が発生した場合、統合・閉校や小中一貫校への移行など、以下の点を考慮して、保有量の適正化に努めます。

(1) 学校施設の減築

1学年あたりの児童・生徒数が、平均20人以下になっている大堰小学校など、現状では、空き教室はありませんが、今後さらに児童・生徒数が減少した場合、学校施設の長寿命化や建替えを行う際に、併せて減築についても考慮します。

(2) 隣接校との統合

今後、近隣で規模の小さな学校が発生する場合には、通学条件などに考慮し、大刀洗中学校との小中一貫校への移行も含め、統合も検討します。

その場合は、閉校となった施設では跡地利用の検討を行うとともに、避難施設としての防災機能のほか地域活動での活用にも配慮することが必要です。

②改修等の基本的な方針

1) 長寿命化の方針

本町の今後の厳しい財政状況の下では、改築を中心とした老朽化対策では、対応しきれない場合が生じる恐れがあります。

中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現するため、改築より工事費が安価で、廃棄物や二酸化炭素の排出量が少ない長寿命化改修への転換を図ります。

なお、改築せざるを得ない建物があった場合には、改築までの期間に応急的な保全を行うなど、当面の安全性・機能性等の確保に努めます。

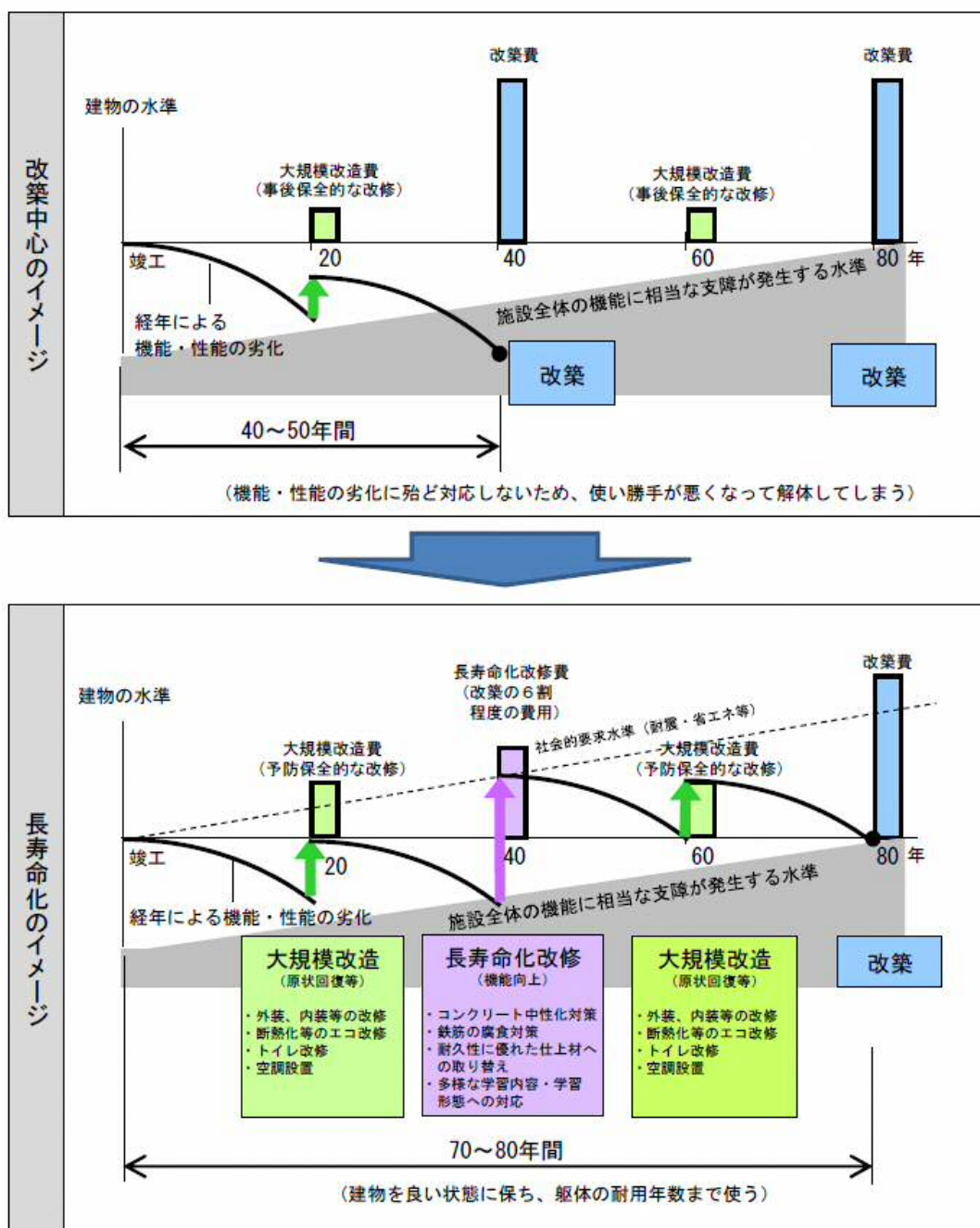


図 改築中心から長寿命化への転換イメージ

資料：文部科学省：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

2) 目標使用年数、改修周期の設定

(1) 予防保全の方針

建物は、屋根や外壁などの劣化や破損への対応を対処療法的に行うと、建物の骨格部である躯体や電気・機械設備の損傷につながり、建物全体の寿命を縮める要因となってしまいます。

これまで、本町ではこうした事後保全を行ってきました。

今後は、建物をできる限り長く使うため、適切な維持管理を行っていくことが重要であり、そのためには、老朽化による劣化・破損等の大規模な不具合が生じた際に修繕等を行う「事後保全」だけでなく、損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を実施することで機能・性能の保持・回復を図る「予防保全」を導入します。

また、「予防保全」を行うことにより、突発的な事故や費用発生を減少させ、施設の不具合による被害のリスクの緩和や、改修、日常的な維持管理の費用を平準化し、中長期的なトータルコストを下げることに努めます。

(2) 目標使用年数の設定

建物の寿命は立地条件や施工性、使用状況の違いによっても大きく左右されます。

鉄筋コンクリート造の学校施設の法定耐用年数は、47年となっていますが、これは税務上、減価償却費を算定するためのものであり、一般的に鉄筋コンクリート造の建物では、コンクリートのひび割れ・欠けや鉄筋の腐食等の劣化が生じていたとしても、劣化が重度にならないうちに適切な時期(概ね築後45年程度まで)にその劣化の原因を調査し劣化の程度と原因に応じた適切な補修・改修を行うことで耐用年数を伸ばすことができます。

鉄筋コンクリート造の校舎の場合、目標耐用年数として、普通品質では50～80年、高品質の場合は80～120年とされています。

本計画においては、「建築物の耐久計画に関する考え方」(社団法人日本建築学会)が提案する施設使用の限界年数の考え方に基づき目標使用年数を設定します。

表 望ましい目標耐用年数の級

構造種別 用途	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造		木造
	高品質の場合	普通品質の場合	重量鉄骨		
			高品質の場合	普通品質の場合	
学校・官公庁	Y。100以上	Y。60以上	Y。100以上	Y。60以上	Y。60以上

表 目標耐用年数の級の区分例

目標耐用年数 級(Y。)	代表値	範囲	下限値
Y。150	150年	120～200年	120年
Y。100	100年	80～120年	80年
Y。60	60年	50～80年	50年
Y。40	40年	30～50年	30年

出典：「建築物の耐久計画に関する考え方」(日本建築学会)

以上のことから適切な維持管理がなされることを前提に、前述の構造躯体の健全性の評価結果等に基づき、本町の学校施設の目標使用年数を次頁のように設定します。

表 目標使用年数の設定

建物の種別	目標使用年数
長寿命化建物	80年
一般建物	60年

学校や屋内運動場の法定耐用年数

- ・鉄筋コンクリート：47年
- ・鉄骨造：19～34年
- ・木造：22年

法定耐用年数は、省令制定当時には、建物を構成する主要な部位（構造躯体、外装、床等）ごとに耐用年数を総合的に勘案し、算定されたと言われています。よって構造躯体の劣化により使用できなくなる寿命を表しているわけではありません。

建物には、法定耐用年数以外に、物理的耐用年数、機能的耐用年数、経済的耐用年数があります。

鉄筋コンクリート造の建物については、大規模な補修が不要となる期間とそれに応じたコンクリートの設計基準強度を4段階に分けて定めており、期間は30年、65年、100年、200年、それに応じた耐久設計基準強度はそれぞれ18、24、30、36N/mm²です。（「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事」日本建築学会、2009年改訂）

本町の対象学校建築物ではコンクリート設計基準強度は、17.6N/mm²～17.7N/mm²であることから、概ね築後45年までが長寿命化改修を行う時期の目安と考えます。

（3）改修周期の設定

建物を設定した目標使用年数まで使用し、学校施設の機能・性能の低下を長期間放置することなく、求められている水準まで引き上げる機会を定期的に得るため、必要な改修の周期を以下のように設定します。

表 改修周期の設定

	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期
校舎	概ね80年	概ね築20年・築60年	概ね築40年
体育館	概ね80年	概ね築20年・築60年	概ね築40年

※この改修周期は、原則として建て替え等による新築及び築後20年未満の既存建物に適用します。

築後20年以上経過している既存建物は、経過年数や建物の劣化状況などから、個別に改修周期を検討する必要があります。

今後、築20年経過時点において、原状回復及び予防保全的な改修を行い、目標使用年数の中間期に長寿命化改修を実施、その後改築までの期間に再度原状回復のための改修を行うなど、定期的に必要な改修を行い、建物を長寿命化します。

第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

①改修等の整備水準

「第3章 ②学校施設の老朽化状況の実態」において把握した現在の劣化状況や「第4章 学校施設整備の基本的な方針等」を踏まえ、学校施設に関する統一的な方針として、今後の改修等による整備水準を設定します。

建物の外部・内部仕上げ、設備等の経年による劣化や機能の低下を改修により改善を図ります。

改修の内容は各建物により築年数や老朽化の部位と程度が異なることから、劣化状況調査の結果を踏まえ、今後の改修整備においてどのレベルまでの整備水準を確保するのかを部位別に検討し、本町の学校施設整備水準の統一性を図るものとします。また、コストとの関連付けを図ることにより最適な仕様を設定します。

以下に、長寿命化改修において“耐久性を高めるもの”（建物内部・設備），“現代の社会的要請に応じ機能向上させるもの”（内部・設備），“多様な学習内容・学習形態への対応”（学習環境の多様化・安全安心な施設整備）、に区分した整備水準表を示します。

表 適用を検討する整備水準

部位		建設当初の標準仕様 (低)	改修工事の整備水準 (長寿命化改修) 《整備レベル》	省エネ型の改修 (高)	修繕レベル	
①耐久性を高めるもの						
外部仕上げ	屋根・屋上	アスファルト防水	かぶせ工法によるシート防水	外断熱シート防水(t-25) 外断熱保護防水(t-20)	クラック補修 浮き部補修	
		シート防水	シート防水貼替			
		スチール鋼板屋根	塗膜防水			
		瓦葺屋根	割れた瓦の葺替え			
	鉄筋コンクリート躯体	※構造体の劣化状況調査	躯体の状況に応じた適切な補修		ひび割れ補修工法、中性化抑止工法、断面修復工法、鉄筋腐食補修	
	鉄骨構造体				錆び補修	
外壁	RC部	モルタル下地外装薄塗材E(リシン吹付)	耐久性を高める塗装材(防水型複層塗材)	内断熱	複層塗材	
	鉄骨部	外壁ボード塗装(複層薄塗材)	セメントボード葺替え			
外部 開口部		アルミサッシ スチールサッシ・スチール扉	危険個所の落下防止対策 既存サッシのガラス交換(複層ガラス等) ガラス飛散安全対策 塗装	サッシ交換(カバー・はつり工法)(複層ガラス)	シーリング打替え 開閉調整 塗装	
給排水設備	給水	ライニング銅管	硬質塩化ビニール管による配管の更新			
②現代の社会的要請に応じ機能向上させるもの						
内部仕上げ	各室	内装材	一般材料(EP塗装)	空気汚染物質を発生させない材料に更新	内装の全面撤去・更新(木質化)	
		換気設備	自然換気	機械換気		
	教室(廊下)	間仕切壁	スチール枠・アルミ枠・木製扉	網製・アルミ製スクールパーテーション等		
		床	Pタイル、シート床、フローリングブロック	床補修、教室内の段差解消、適切なスロープ設置	床の全面撤去・更新(木質化)	
	出入建具	木製扉	網製・アルミ製スクールパーテーションまたは網製建具へ更新			
	階段室	防火戸	防火戸(建設時の基準法)	防火戸の改修		
トイレ	床	ウェット式(タイル仕上)	ドライ式(抗菌シート)、段差解消		ウェット(部分タイル張り替え)	
	衛生器具	和式便器、一般型小便器、水栓	洋式便器(洗浄機能付き便座)、節水型小便器、自動水栓	節水型小便器、自動水栓(節水型器具)	衛生器具交換	
	照明設備	手動照明	自動照明	自動照明		
設備	電気設備	照明設備	蛍光灯	LED照明	LED照明(人感センサー、照度センサー付) 太陽光発電、太陽熱給湯	蛍光灯(照明器具交換)
	給排水設備	給水	受水槽方式	直結増圧給水方式	雨水・中水利用、排水再利用	
	空調設備	冷・暖房	ヒートポンプ式エアコン設置(教室・管理教室)		ヒートポンプ式マルチエアコン	
③多様な学習内容・学習形態への対応						
学習環境の多様化		対応なし	ICT [*] 環境の設備			
内部	バリアフリー	スロープ等に手摺り設置、案内板・カウンター設置、誘導ブロック設置、車椅子対応駐車場			多目的トイレの設置、乗用エレベーター設置	
	アスベスト	アスベスト封じ込め	アスベスト撤去			
	防災	非常用自家発電設備、災害時飲料用受水槽(20t)FRP製				
	防犯	玄関のモニター付インターホン、管理室～教室用インターホン、防犯カメラ				

^{*}ICT:「Information and Communication Technology(情報通信技術)」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指します。

②維持管理の項目・手法等

各学校施設の維持管理を効率的・効果的に実施するため、躯体以外の劣化状況の点検・評価の項目を「劣化状況調査票」及び「点検チェックシート」に設定します。

点検については、「点検チェックシート」に添って、①建物（敷地）、②建物（外部）、③建物（内部）、④電気設備、⑤機械設備、⑥防災設備の点検結果を記録するとともに、「劣化状況調査票」に新たな劣化状況の記録や改善状況記録及び、工事履歴、改修・点検年度などを記すものとします。

この点検は、学校ごとの施設管理者が行うこととします。

部位ごとの対応手法については、以下の表に整理するとおりとします。

なお、予防保全を実施すべき部位については、建物構造躯体への影響が大きいことから、以下の区分を設定します。

- (A) 計画的な対応が必要
- (B) 運転の時間等において、また点検を介して不具合があれば故障する前に対応が必要
- (C) 事後保全で対応

表 維持管理の部位ごとの対応手法表

	対象部位	具体例	対応手法	理由	
建築	屋根・屋上	屋上防水・屋根	A	屋根・屋上及び外壁の劣化に伴う亀裂の発生は漏水原因となる可能性が高い	
	外壁	R C造躯体・外壁ボード	A		
	開口部	シャッター・アルミサッシ・スチール扉	B		日常使用で不具合が発見できる
	内部仕上げ	床・壁・天井内装材	A		雨漏れなどにより仕上げ材の劣化・損傷が進行する。日常使用で不具合が発見できる
電気設備	受変電	受電盤・変圧器・コンデンサー	B	電気事業法による点検及び、消防法による点検が1回/年実施されており、点検を通じて不具合が発見できる	
	通信・情報	映像・音響・インターホン	C	日常使用で不具合が発見できる	
	通信・情報（防災）	自動火災報知機・非常警報・非常灯	B	消防法による点検が1回/年実施されており、点検を通じて不具合が発見できる	
	被雷・屋外	避雷針・外灯	C	日常点検により不具合が発見できる	
機械設備	空調	パッケージエアコン・室外機	C	日常使用で不具合が発見できる	
	換気・排煙	送風機・排煙機	C	窓やドアを開けるなどして、代替え措置が可能	
	給排水衛生	屋内給水設備・ポンプ	C	衛生的環境の確保に関する法律により貯水槽の清掃を1回/年実施されており、清掃に合わせて点検を行い不具合が発見される	
	消火	消火栓	B	消防法による点検が1回/年実施されており、点検を通じて不具合が発見できる	
	昇降機など	エレベーター ダムウエーター	B	建築基準法に基づく点検が1回/年実施される。日常の使用の中で月1回程度作動確認を実施することで、不具合の発見が可能である	

また、この点検については、点検・評価の項目毎に本調査で行われた劣化状況調査票（平成30年）を調査基準結果として、今後1年周期で点検を行うものとします。

点検調査： 年ごとに実施

また、建築基準法第12条に基づく有資格者による専門的な点検を3年ごとの実施に努めます。

劣化状況調査票

通し番号			
学校名		学校番号	調査日
建物名			記入者
棟番号		建築年度	年度 (年度)
構造種別	延床面積	m ²	階数 地上 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴 (部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレを目視点検できない			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル (ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項 (改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン) 等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項 (改修工事内容及び12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
0
/100点

点検チェックシート

		基準日	
学校名		施設番号	
施設大分類		施設中分類	
		施設小分類	

チェックシート1

点検日 年 月 日 点検者 ()

点検のポイント	点検結果 劣化		メモ欄
	有	無	
1~3.<建 築>			
1.建物（敷地）			
①敷地内の舗装などに大きなひび割れ・陥没、傾斜、破損はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②排水溝などに排水不良や損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③塀（補強コンクリートブロック等）や擁壁に著しいひび割れ、破損、傾斜等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④門やフェンスに腐食（著しい錆）や変形はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2.建物（外部）			
2-1 屋上・屋根			
①屋上床面に歩行上危険なひび割れ、反りや目地部の欠落や防水層等の膨れ等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②排水溝に著しいひび割れ、浮きやゴミ溜まり、植物等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③屋根ふき材に割れ、変形、腐食（著しい錆）等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④屋上回りのパラペットの立ち上がり面や笠木に著しいひび割れ、白華や破損はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤屋上やバルコニーに設置された手すり・タラップに腐食（著しい錆）やガタツキはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥雨樋のつまり、ガタツキ、破損等や支持金物に腐食（著しい錆）はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦設備機器や注意喚起板等の本体や接合部、支持部分に腐食（著しい錆）や損傷等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2-2 外壁			
外壁躯体に異常はないか（以下の該当する項目毎に点検）。			
・鉄筋コンクリート造：鉄筋露出や著しい白華、ひび割れ、汚れ、欠損等はないか。			
①・鉄骨造：鋼材に腐食（著しい錆）等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
・木造：木材の著しい腐朽、損傷や虫害又は緊結金物に腐食（著しい錆）はないか。			
・その他の構造：れんが、石、ブロック等に割れ、ずれ又は変位等や目地モルタルに著しい欠落はないか。			
②外装仕上げ材（タイル・モルタル、石等）に剥落等や著しい白華、ひび割れ、浮き、錆、変形等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
・外壁から漏水箇所は確認されていないか。			
③吹付け等の塗料仕上げ部分に浮き、剥落等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④目地、シーリング材にひび割れ等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤広告板、空調設備等で、機器本体及び支部分等に腐食（著しい錆）や損傷等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2-3 外部建具 他			
①窓やドア本体に腐食（著しい錆）、ネジ等の緩みによる変形はないか。シーリング材にひび割れはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②窓ガラスに亀裂その他の損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③扉の開閉時に著しいガタツキはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④施錠、解錠に不具合はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤基礎コンクリートに鉄筋露出や著しいひび割れ、欠損等はないか。礎石部にずれはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥屋外階段に歩行上支障があるひび割れ等や、手すりにガタツキ等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦給気口、排気口、防虫網等に通気不良となる塵埃、障害物がないか。損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑧土台が木造の場合は、木材の著しい腐朽、損傷や虫害又は緊結金物に腐食（著しい錆）等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3.建物（内部）			
①天井、壁、床の仕上げ材に浮き、たわみ、損傷、剥落等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
・降雨時の新たな雨漏箇所は確認されていないか。			
・天井等に新たな雨漏れ痕が増えてないか。			
②壁や天井にむやみに物を取り付けていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③階段に歩行上支障があるひび割れ、腐食（著しい錆）等や手すり、滑り止めに損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
室内躯体に異常はないか（以下の該当する項目毎に点検）。			
・鉄筋コンクリート造：鉄筋露出や著しい白華、ひび割れ、汚れ、破損等はないか。			
④・鉄骨造：鋼材に著しい錆による腐食等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
・木造：木材の著しい腐朽、損傷や虫害又は緊結金物に腐食（著しい錆）はないか。			
⑤躯体が鉄骨造の場合は、耐火被覆の剥がれ等により鉄骨が露出してないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
防火設備（防火戸、シャッター、ダンパー等）に変形、損傷はないか。			
⑥防火設備の建具の動作に支障がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
廊下、防火戸、避難ハシゴ、救助袋、避難経路上等を物品がふさいでないか。			
⑦防煙壁に亀裂、破損、変形等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑧トイレ、湯沸し室等に異臭、水漏れはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑨トイレ、湯沸し室等の排水状況は良好か。換気機器は正常に作動し、排気しているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑩点検口本体及び枠にずれ、変形、腐食等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑪石綿（アスベスト）の表面の毛羽立ち、繊維のくずれ、たれ下がり等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑫石綿（アスベスト）を囲い込み又は封じ込めしている部材に亀裂、剥落等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑬給気口、排気口、ドアガラリ等に通気不良となる塵埃、障害物がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑭給気口、排気口、ドアガラリ等に損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

点検チェックシート

基準日

学校名		施設番号	
施設大分類	施設中分類	施設小分類	

チェックシート2

点検のポイント	判定	点検結果 劣化	メモ欄
	当	無 有	
4.<電気設備>			
4-1.受変電・自家発電設備			
①受変電設備の扉やフェンスは施錠されているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②受変電設備に錆が発生していないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③受変電設備に、異音・異臭はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4-2.分電盤・照明設備			
①分電盤に損傷、腐食、錆がないか。異音、異臭が発生していないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②分電盤の変形や前に物を置くことによる開閉の障害はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③照明器具のスイッチの入り切り及び点灯は正常か。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④照明器具や支持金物に損傷、変形がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4-3.コンセント設備			
①コンセント、スイッチ、プレートに損傷、変形等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②コンセントや延長コードがたこ足配線になっていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③アースが必要な器具にアースが接続されているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4-4.屋外電気設備			
①外灯にぐらつき、傾き、腐食はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②屋外灯の点灯時間や消灯時間がずれていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③避雷針、テレビアンテナ、支柱に傾き、ぐらつき、腐食、破損等、避雷導線に破断がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④盤類、ボックス類、配線管に腐食や損傷がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤太陽光発電設備は正常であるか。 ・パネル部分の損傷、変形などはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5.<機械設備>			
5-1.給排水設備			
①受水槽、高置水槽及び架台、基礎に腐食、漏水、損傷、変形、沈下、固定の緩みがないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②受水槽、高置水槽の点検口は、施錠されているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③オーバーフロー管から水が流出していないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④オーバーフロー管、通気管の防虫網が破れていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤ポンプからの異常振動、異音等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥給水、排水配管から水漏れ、腐食はないか。保湿剤は濡れていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦給水栓より赤水がでていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑧トイレ、手洗い、流しからの排水状況は良好か。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑨排水口より異臭がしないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5-2.ガス設備			
①ガス湯沸器、ガスコンロ及びガス管からガス臭がしていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②ガス管にひび割れなどの劣化はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③ガス器具やその支持金物に変形、腐食がないか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5-3.暖房・空調・換気設備			
①各機器（内部、外部共）の損傷、変形、腐食（著しい錆）はないか。異常振動、異音はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②各機器（内部、外部共）の固定（基礎、ボルト等）に亀裂、腐食（著しい錆）、ゆがみはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③配管、バルブに変形、損傷、腐食（著しい錆）はないか。また水漏れや油漏れの痕跡はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④吹出口、吸込口にほごりが著しく付着していないか。前に物が置かれていないか。異音はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤送風機等は正常に作動しているか。異音はないか。換気風量の極端な変化はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥ダクト、ダンパー及び支持金物類に損傷、腐食（著しい錆）変形がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦防火ダンパーは「閉」になっていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6.<防災設備>			
6-1.自動防災放置設備			
①受信機、発信機等に埃が付着していないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②感知器に著しい汚れ、損傷等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6-2.非常照明、誘導灯設備			
①非常照明器具は点灯するか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②ロッカー等により非常照明器具等が隠れていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6-3.消火設備			
①消火器、消火栓の前等に物を置いていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②屋内消火栓箱に変形や腐食がないか。また、開閉することができるか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6-4.排煙設備			
①排煙窓が備品や書類で開放不能になっていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②排煙・給気風道に変形、破損又は著しい腐食等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③排煙窓操作器（オペレーター）の前に物を置いていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④排煙窓は作動するか。腐食、変形はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※公共建築物点検マニュアル 財務局資産運用課 参考

用語の解説

チェックシートに記された点検に関する用語について、以下に説明します。

アース (接地)	コンセントの横にある接地端子、接地極（通常 2 口の差込口の真ん中よりやや下にも口のようなものが付いているもの）やよく見かける銅の棒などでできたアース棒を大地に打ち込んで大地との接触状態にする事で、その電線と接続された電子機器のシャーシ（金属部分）は大地と等価になり、異常が起こった際にシャーシに異常電流が流れた時点で既に大地に流れたのと同じ状態になるため、人体に流れない。これで感電防止の保安用アースとして働く事になる。（大地の抵抗が人体の抵抗より低い場合大地側に流れる。）
アスベスト	石綿。石材を繊維状に分解したもので、安価で防火性があることから建築資材などとして様々な場所で使われてきた。アスベスト繊維は非常に細かいもので、吸い込むと健康への悪影響があるため、建築材では封じ込めや撤去工事が行われている。
アンカーボルト	機械・柱・土台などを据えつけるため、コンクリートの基礎などに埋め込むボルト。埋込み部分を U 形、L 字に曲げるなどして、引抜きに対する抵抗力を増す。
オーバーフロー管	水槽内の水を一定量に保ち、排水の逆流を防ぐため、過剰になった水を槽外へ排出するための管。
笠木	屋上や庇の上端に取り付ける部材。防水材の端部を押さえ水の浸入を防ぐ。
躯体	建物の主要な構造体、又、骨組みのこと。構造強度にかかわる部分。
仕上げ材 (外壁)	建物躯体の劣化保護のために表面に施す。タイル、モルタル、石、金属、吹付け材（リシン、塗料等）等がある。
シーリング材	空気や水が入らないようにすきまに充填（じゅうてん）する材料。一般には合成樹脂やモルタル・油性パテなどが用いられ、タイル目地（めじ）、建物外部のサッシ取り付け部、外壁のすきま、コンクリートの継ぎ目などに使われる。部材の膨張や変形を吸収して互いに影響しないようにする目的もある。
自家発電設備	停電時の非常用電源に用いるエンジンによる発電機。
受変電設備	電力会社などから高圧（6,600V 以上）で受けた電気を、低圧（100V, 200V）に降圧して配電するための設備。
礎石	建築物の土台となって、柱などをささえる石。
耐火被覆	鉄骨の柱や梁などを、火災による熱から守るための保護材。耐火性の板材で囲う方法と、軟質の素材を鉄骨に付着させる方法がある。
ダクト	風洞のこと。空調や換気の際して、空気を送るために使用する管路。
ダンパー	空調調和や換気において風量調整及び閉鎖に用いられる羽根または板状の扉が付いた部材。ダンパーは通常「開」の状態になっているのが正常です。
チョーキング	主に塗装表面が暴露状態（むき出しの状態）の際に紫外線、熱、水分・風等により塗装面の表層樹脂が劣化し、塗料の色成分を顔料がチョーク（白墨）のような粉状になって顕われる状況や状態をいう。
ドアガラリ	換気や目隠しなどのために扉に付けるルーバー。細い板が何枚も並んだ作りはブラインドに似ており、固定式、可動式のものがある。
排煙窓操作器 (オペレーター)	排煙窓を手動解放する際に使用する装置。
肌分かれ	張り合わされた接合面や塗り重ねた接触面が離れること。
白華	コンクリートやモルタルの表面部分に浮き出る白い生成物をさす。これが浮き上がる現象を白華現象（エフロレッセンス）という。コンクリート内部（表層部）に侵入した水分が、蒸発する際に石灰分などの可溶成分とともに表面に染み出し固まったもの等であるため無害である。
パラペット	屋根端部からの漏水を防ぐため、屋上で壁を立ち上げた部分。上端には笠木が付けられる。
分電盤	動力盤、制御盤を含み電源を回路ごとに遮断する性能を持つもの。
保温材	保温を目的として用いる材料。グラスウール、ロックウール、発泡させたプラスチックなどがある。
防煙壁	防煙区画に用いられる間仕切り壁や垂れ壁。
防火ダンパー	火災時にダクトを遮断し延焼を防ぐ機能を持つ部材。
目地	石造、煉瓦造、コンクリートブロック造などの組積（せせき）工事の壁や床、タイル張りなどの張付け工事の壁や床において、個々の材料の間にできる継目（つぎめ）をいう。また、モルタル塗りの壁や床で、亀裂を防ぐためにつける溝や金属板をはめ込んだ節目も目地と呼ぶ。垂直の目地を縦目地、水平の目地を横目地という。
免震装置	水平方向の急激な揺れを穏やかな揺れに変える装置。
モルタル	セメント、砂、水を練り合わせたもの。仕上げ材や接着剤として使われる。
屋根ふき材	傾斜屋根の仕上げ材。瓦、スレート板、金属板などがある。
擁壁	切り取りや盛土をした法面（のりめん）（傾斜のこと）が、自然のままでは土の圧力で崩壊するおそれがあるとき、土圧に抵抗して土の崩れるのを防ぐためにつくられる壁状の構造物。

第6章 長寿命化の実施計画

①改修等の優先順位付けと実施計画

ここでは、今後の学校施設の改修等に関する優先順位について設定し、直近5年間において改修を図る建物について年次計画（実施計画）を設定します。

1) 長寿命化改修等の優先順位

優先順位の設定にあたっては、第1段階では築年数の古い順に4グループ（A・築40年以上、B・築30年以上40年未満、C・築20年以上30年未満、D・築20年未満）に区分し、築年数の古い順に長寿命化改修を行うことを基本とします。

第2段階では、築年数を考慮した上で、さらに劣化状況評価の健全度が75点未満の建物は優先順位を上げて設定します。

実施計画の策定にあたっては、上記の優先順位設定を基本に、過去の大規模改修・耐震改修履歴や、建物の長寿命化に大きく影響する「屋上・屋根」「外壁」「内部仕上げ」の劣化状況評価（特にC評価）を確認しながら検討を進めます。

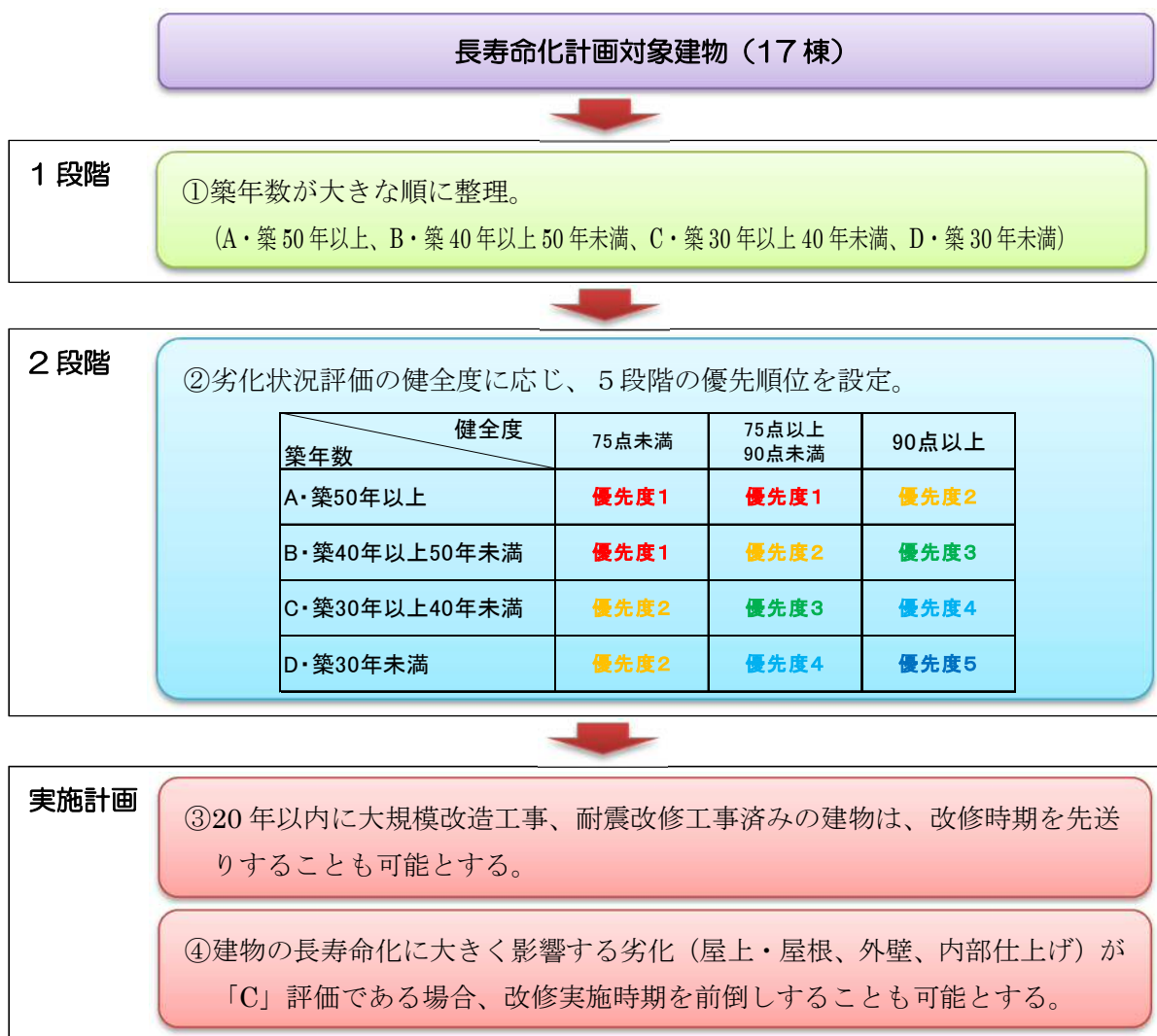


図 優先度の設定フロー

表 優先順位の設定

		健全度		
		Ⅰ (75点未満)	Ⅱ (75点以上90点未満)	Ⅲ (90点以上)
経過年数	高	優先度 1 (0棟)	大刀洗小(校舎1) 健全度84点 優先度 1 (1棟)	大堰小(校舎1) 健全度91点 大刀洗中(屋内運動場) 健全度100点 優先度 2 (2棟)
	B・築40年以上50年未満	本郷小(屋内運動場) 健全度55点 大堰小(屋内運動場) 健全度55点 優先度 1 (2棟)	大刀洗小(屋内運動場) 健全度75点 菊池小(屋内運動場) 健全度77点 優先度 2 (2棟)	菊池小(校舎2) 健全度93点 大堰小(校舎2) 健全度93点 優先度 3 (2棟)
	C・築30年以上40年未満	大刀洗小(校舎3) 健全度67点 大刀洗中(校舎2) 健全度54点 優先度 2 (2棟)	本郷小(校舎1) 健全度84点 菊池小(校舎3) 健全度84点 大堰小(校舎3) 健全度84点 優先度 3 (3棟)	菊池小(校舎1) 健全度100点 優先度 4 (1棟)
	D・築30年未満	大刀洗小(校舎2) 健全度52点 優先度 2 (1棟)	優先度 4 (0棟)	大刀洗中(校舎1) 健全度93点 優先度 5 (1棟)
低		建物数 (5棟)	(6棟)	(6棟)
		(17棟)		

2) 今後5年間の整備内容

今後5年間の実施計画における整備内容は、基本的に前述の優先度における優先度「1」若しくは「2」の建物について優先して実施することとします。

ただし、各年の総事業費の平準化や過去20年以内の大規模改造工事、耐震改修工事済みの建物、建物の長寿命化に大きく影響する劣化（屋上・屋根、外壁、内部仕上げ）が「C」評価である建物を考慮し、年次計画を検討します。

具体的に今後5年間で実施する「改築」「長寿命化改修」「大規模改修」については、以下の考え方で設定します。

- 優先度1のうち、本郷小学校（屋内運動場）、大堰小学校（屋内運動場）は、今後5年間で「長寿命化改修」を実施します。
- 大刀洗小学校（校舎1：南校舎）については、構造躯体の健全性の評価において「要調査」になっているものの、平成21年に大規模改造が実施され、比較的健全性が保たれていること、コンクリート圧縮強度が低いことを考慮した補強レベルで耐震改修が実施されたことなどから、今後5年間での対応はせず、既存建物の調査を実施し、他の建物の改修を優先します。
- 優先度2のうち、大刀洗小学校（屋内運動場）、大刀洗小学校（校舎3：給食室）、菊池小学校（屋内運動場）は、「長寿命化改修」とし、大刀洗小学校（校舎2：北校舎）、大刀洗中学校（校舎2：南校舎）は、経過年数を考慮し、2019年度に計画している「大規模改修」を実施します。
- 大堰小学校（校舎1：主に北校舎）については、構造躯体の健全性の評価において「要調査」になっているものの、平成20年に大規模改造が実施され、比較的健全性が保たれていること、コンクリート圧縮強度が低いことを考慮した補強レベルで耐震改修が実施されたことなどから、今後5年間での対応はせず、既存建物の調査を実施し、他の建物の改修を優先します。
- 大刀洗中学校（屋内運動場）については、平成26年に大規模改造が実施され、比較的健全性が保たれていることから、今後5年間での対応はせず、他の建物の改修を優先します。

※コンクリート圧縮強度が低く、構造躯体の健全性の評価において「要調査」となっている大刀洗小学校（校舎1：南校舎）、大堰小学校（校舎1：主に北校舎）については、早急にコンクリート圧縮強度調査（コア抜き）を実施し、更新手法について判断します。

※既に経過年数が20年以上経過した建物は、予防保全を前提とした築20年目の大規模改修を行っていないことから、建物の健全度や部位ごとの劣化状況評価の結果などに加え、大規模改修履歴等を踏まえ、個別に大規模改修（予防保全型）、長寿命化改修を実施する時期を調整します。
そのため、P45に設定した改修周期と異なる場合があります。

表 今後5年間の整備内容の設定

優先度	建物	築年数	改修履歴※	健全度	整備内容
1	本郷小（屋内運動場）	41年	H15 大改・H22 屋改	55点	長寿命化改修
	大堰小（屋内運動場）	41年	H15 大改・H22 屋改	55点	長寿命化改修
	大刀洗小（校舎1）	55年	H21 大改・H23 耐改	84点	6年目以降で対応
2	大刀洗小（校舎3）	32年	H14 屋改	67点	長寿命化改修
	大刀洗中（校舎2）	30年	H22 外改	54点	大規模改造
	大刀洗小（校舎2）	29年		52点	大規模改造
	大刀洗小（屋内運動場）	45年	H14 大改	75点	長寿命化改修
	菊池小（屋内運動場）	43年	H15 大改・H26 屋改	77点	長寿命化改修
	大堰小（校舎1）	55年	H21 大改・耐改	91点	6年目以降で対応
	大刀洗中（屋内運動場）	51年	H26 大改	100点	6年目以降で対応

※大改：大規模改造、耐改：耐震改修、屋改：屋根改修・屋上防水改修、外改：外壁改修

3) 今後5年間の予算配分

今後5年間の実施計画における整備内容に基づき、予算配分を検討する際、本町の財政状況を考慮すると既存建物の経常維持管理と長寿命化計画に基づく改築・改修サイクルで計画した場合、単年度の事業量は、概ね改築若しくは長寿命化改修1棟に大規模改修1棟を加える程度となります。これを踏まえ、今後5年間の実施計画における予算配分は、以下の点を考慮して年次計画を検討します。

- 2019年度は、既に計画が決定している大刀洗小学校（校舎2：北校舎）、大刀洗中学校（校舎2：南校舎）の大規模改造に加え、計画しているトイレ、空調の整備のみとします。
- 2020年度から2023年度は、既に計画が決定しているトイレ整備に加え、今後5年間の整備内容に基づき、「長寿命化改修」を計画します。

なお、「改築」「長寿命化改修」「大規模改造」の単価は、以下のように設定します。

表 改築・改修単価の設定

	改築	長寿命化改修	大規模改造
校舎	270,000 円/㎡	162,000 円/㎡	67,500 円/㎡
給食室等	270,000 円/㎡	162,000 円/㎡	67,500 円/㎡
屋内運動場	290,000 円/㎡	174,000 円/㎡	63,800 円/㎡

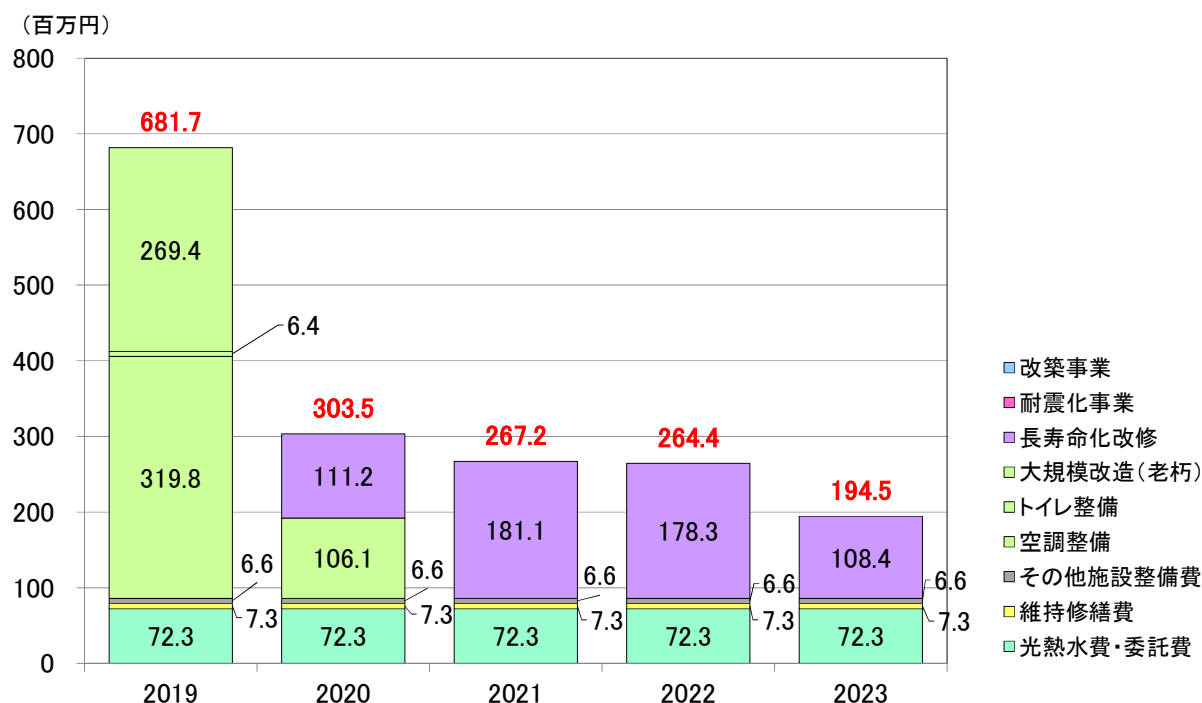


図 今後5年間の予算配分

※文部科学省手引き様式にて作図。

表 直近5年の個別施設の整備計画

事業名称	2019		2020		2021		2022		2023	
	H31		H32		H33		H34		H35	
	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
新增築事業										
改築事業										
耐震化事業 (非構造部材の対策含む)										
長寿命化改修			大刀洗小(校舎3) 大堰小(屋体)	43.2 68.0	大刀洗小(校舎3) 大堰小(屋体) 本郷小(屋体)	43.2 68.0 69.9	菊池小(屋体) 本郷小(屋体) 大刀洗小(屋体)	54.1 69.9 54.3	菊池小(屋体) 大刀洗小(屋体)	54.1 54.3
大規模改造(老朽)	大刀洗小(校舎2) 大刀洗中(校舎2)	169.4 100.0								
防災関連事業										
トイレ整備	大堰小 本郷小 大刀洗小	6.4	大堰小 本郷小 大刀洗小	26.8 64.2 15.1						
空調整備	小学校 中学校	235.0 84.8								
障害児等対策										
特別支援学校の整備										
部位修繕										
その他施設整備費	過去平均	6.6	過去平均	6.6	過去平均	6.6	過去平均	6.6	過去平均	6.6
維持修繕費	過去平均	7.3	過去平均	7.3	過去平均	7.3	過去平均	7.3	過去平均	7.3
光熱水費・委託費	過去平均	72.3	過去平均	72.3	過去平均	72.3	過去平均	72.3	過去平均	72.3
合計		681.7		303.5		267.2		264.4		194.5

※文部科学省手引き様式にて作表。

②長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～

1) 長寿命化の効果

本町の学校施設（校舎・屋内運動場等）について、従来の建替え（改築）を前提とした維持・管理から長寿命化を前提とした維持・管理への切り替え、事後保全から予防保全への切り替えを行うことにより、修繕スパンの改善や修繕箇所の縮小など、改修以降の維持修繕費の低減につながります。

また、必要に応じ、省エネ型の改修を導入することにより、光熱水費の低減にもつながり、トータルとしての維持・管理コストの低減が期待できます。

2) 長寿命化計画によるコストの見通し

計画した今後 5 年間の実施計画（第 1 期）以降においても長寿命化改修、予防保全型の修繕の導入を検討し、更なる維持・管理コストの低減、年度別更新コストの平準化に努めます。

ただし、今後 5 年間の実施計画を踏まえた今後 40 年間の維持更新コストにおいても、2032 年など、改築や長寿命化改修のタイミングが重なり、年間工事費が大きくなる年が出てきます。

今後の定期的な点検や 5 年ごとの見直し（実施計画の更新）において、劣化や構造躯体の状況を見極めつつ、適正な実施計画を検討して改修を進めていきます。

また、今後 5 年間の実施計画を踏まえ、「改築」「長寿命化改修」「大規模改造」の単価を適正に把握し、以降の実施計画に反映していくことも重要です。

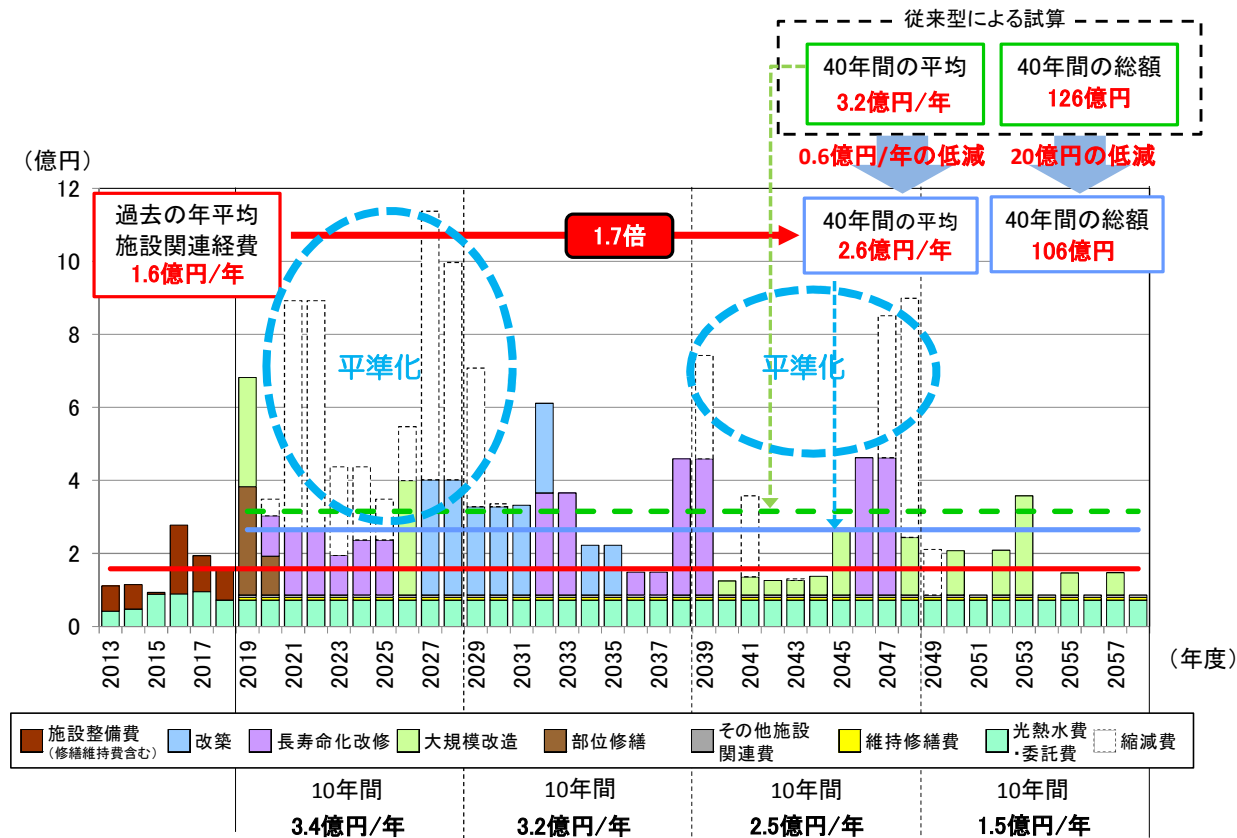


図 実施計画に基づく維持・管理コストの見通し

3) 維持・更新の課題と今後の方針

本計画による建物の健全度や重要度に基づく今後5年間の実施計画を進めた場合、対象となっていない建物における新たな劣化の発生や潜在する改修の積み残しがその後のコスト増大につながることも考慮する必要があります。

また、今後40年間の維持・更新コストの見通しにおいても、過去5年間の経費実績から比べると大きく、長寿命化や予防保全への切り替えだけでは限界があると考えられます。

そのため、大刀洗小学校の屋内運動場倉庫などのように別棟となっている建物を改築の際に、屋内運動場内に機能を持たせるなど、効果的な更新を進めていきます。

また、今後、本計画をフォローアップしていく中で、長寿命化改修や大規模改造時において、重要度・必要性の低いスペースなどを減築することを検討し、保有量（床面積）の縮小に努めます。

さらに、設計は学校ごとに行うと効率が良いことや仮設費用などをはじめとしたコストを抑えるため、学校単位での年次計画にも配慮した計画を検討します。

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

①情報基盤の整備と活用

総合管理計画と連携し、公有財産台帳に基づく施設情報を継続的に更新し、施設の実態把握を可能とする効率的な仕組みを検討します。

特に、学校施設長寿命化計画のPDCAサイクルを着実に実行していくために、継続的な実態把握によるデータベースの蓄積、計画・評価のためのシミュレーション、維持・更新コストの適正化検討等、学校施設のマネジメントを支援するシステムの構築を検討します。

また、本計画における各施設の劣化状況評価結果も含め、計画の内容は、策定後、速やかに公開・発信し、広く施設管理者や町民への周知を図ります。

さらに、PDCAサイクルに基づく計画のフォローアップにおいても、点検結果や検証結果の公開を検討します。

学校施設の管理運営・更新については、児童・生徒が安心・快適に学校生活を送るとともに、町民にとってより利便性が高く、利用しやすい施設としていくため、今後も協働の取り組みを推進していきます。

②推進体制等の整備

本計画は、子ども課が中心となって、学校施設に関する情報を管理・集約し、実施計画を推進します。

また、総合管理計画に位置付けられた「庁内会議」を活用し、関係部署が連携しながら全庁的・横断的な体制で計画を推進していきます。

特に、本計画を効率的に実施していくためには、予算編成部署との連携が必要不可欠であることから、本計画により必要となる費用については、町全体の予算を踏まえながら確保に努めます。

さらに、民間の技術やノウハウを積極的に活用することで、学校施設の質の向上や修繕や改修、更新等にかかる費用の削減が図れる施設については、積極的に民間事業者の活用を進めます。

③フォローアップ

本計画は、総合管理計画と連携し、計画期間内であっても学校施設の定期的な点検及び実態の把握、計画の進捗状況を点検しつつ、必要に応じ不断の見直し（定期的かつ必要に応じた適宜の見直し）により、本計画の更なる充実を図ります。

フォローアップについては、1年ごとに実施する施設の老朽化に関する点検・評価の結果を踏まえつつ、5年ごとに計画を見直し、実施計画の更新に努めます。

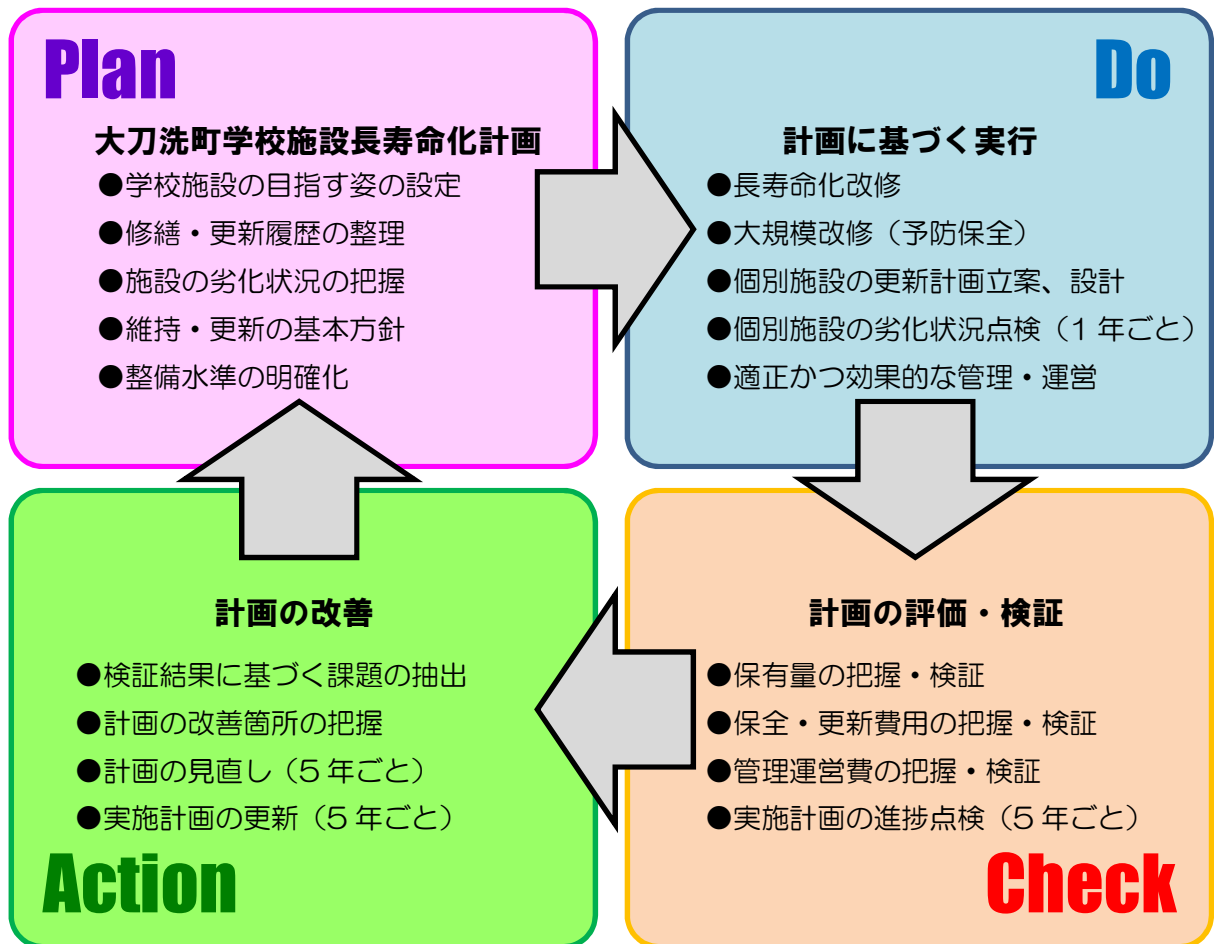


図 PDCAサイクルに基づく計画のフォローアップ